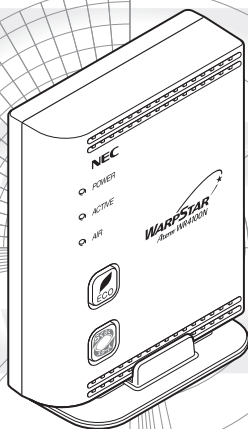
Aterm® WR4100N

取扱説明書 第３版

接続・設定の際は、「つなぎかたガイド」をご覧ください。

「ソフトウェアのご使用条件」は、５ページに記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

技術基準適合認証品

はじめに

この度は Aterm WARPSTAR（エーターム ワープスター）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
Aterm WR4100N（以下、無線 LAN アクセスポイント（親機）と呼びます）は、IEEE802.11b、IEEE802.11g の無線 LAN 規格に準拠したワイヤレスブロードバンドルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド（HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。
「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。下記URL からご覧ください。
AtermStation(http://121ware.com/aterm/)より、[サポートデスク]－[機能詳細ガイド]を選択してください。

お知らせ

●本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
WARPSTAR ベース	無線 LAN アクセスポイント（親機）
Aterm WR4100N	WR4100N（親機）
WARPSTAR サテライト	無線 LAN 端末（子機）
Aterm WL300NU-G	WL300NU-G（無線 USB スティック）

■電波に関する注意事項

- ●本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- ●IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- ●IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4	DS/OF	4
■■■	■■■	■■■

2.4　　:2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF:DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4　　　: 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

Aterm、WARPSTAR は、日本電気株式会社の登録商標です。
らくらく無線スタート、らくらくネットスタート、デュアルチャネルは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
Windows®、Windows Vista®、Windows Live™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows Vista® はオペレーティングシステムです。
Mac、Macintosh、AirMac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の登録商標または商標です。
Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Firefox は、米国 Mozilla Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
Opera は、Opera Software ASA の商標または登録商標です。
“プレイステーション” および “PSP” は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
Wii・ニンテンドー DS・ディーエス /DS は、任天堂の登録商標または商標です。
Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
JavaScript は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Atheros、Align のロゴは、Atheros Communications,Inc. の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
その他、各会社名、各製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。
本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

（3）本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転など

（1）お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
（2）お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイルなど

（1）お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1）弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
（2）前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
（3）許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1）弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1）お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
（2）本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠警　告　:人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注　意　:人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　:本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

発火注意　感電注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

火気禁止

■ 行為を指示する記号

電源プラグをコンセントから抜け

⚠警　告

電源

- AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
  差込口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
  また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

⚠ 警　告

● ACアダプタは必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

● ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

● 本商品添付のACアダプタは日本国内AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

● ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ACアダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

こんなときは

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

● 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

● 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

● 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠警　告

禁止事項

- 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因になることがあります。
  また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。

- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
  人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
  また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  - 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - じゅうたんや布団の上に置く
  - テーブルクロスなどを掛ける

- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。

- 本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。

⚠注　意

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中、長時間にわたり一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。
- 本商品の使用中や使用直後、AC アダプタは、高温になる場合があり、やけどなどのおそれがありますので注意してください。
禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「つなぎかたガイド」にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

その他の注意事項

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となる場合があります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

お願い

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
  ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線LANに関する注意

- 最大150Mbps（規格値）や最大54Mbps（規格値）、最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 端末や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

機能詳細ガイド：AtermStation（http://121ware.com/aterm/）より、[サポートデスク] ー [機能詳細ガイド] を選択してください。

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は、「メニュー画面」の「本 CD-ROM について」をご覧ください。

① 無線 USB スティックの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」（Windows® 版）
② 無線 USB スティック用のドライバ一式（Windows® 版）
③ 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX（Windows Vista® および Windows® 7/XP（Service Pack 2 または 3）のみ）

【ご使用上のご注意】

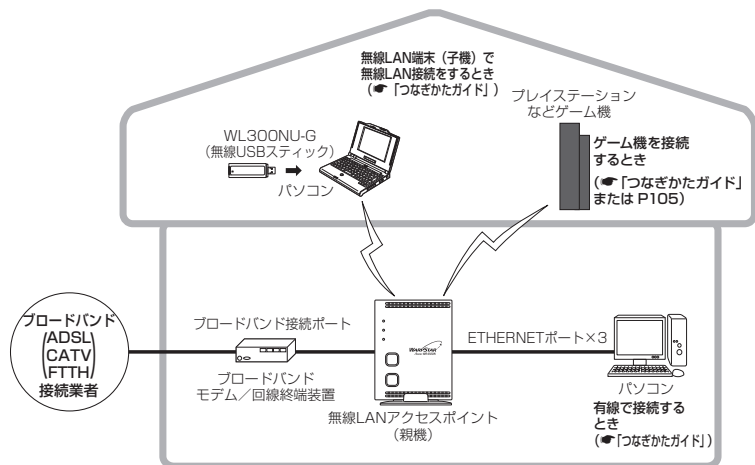
- 添付の CD-ROM をセットして［自動再生］画面が表示されたら、［Menu.exe の実行］をクリックしてください。
- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
  ① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）をクリックし、［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［ファイル名を指定して実行］を選択する
  ※ Windows® XP/2000 Professional の場合は、［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
  ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
  （例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q：¥menu.exe）
  また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、P131 を参照してください。
- CD-ROM をパソコンから取り出す時は、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- Windows Vista® および Windows® 7/XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。
- 「メニュー画面」とサテライトマネージャの画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、Alt キーを押しながら、Tab キーを押すことで画面を切り替えることができます。

■ CD-ROM の動作環境

- **Windows Vista® または Windows® 7/XP/2000 Professional が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。**
- **推奨環境**
  ・Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
  ・ハードディスク容量：40MB 以上を推奨
  ・メモリ容量：Windows Vista® の場合、512MB 以上を推奨
  　Windows® 7 の場合、1GB 以上を推奨
  　Windows® XP/2000 Professional の場合、256MB 以上を推奨
  ・800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ
  上記以外でも設定できますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

※本商品の対応 OS については、P32 を参照してください。

本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／ CATV ケーブルモデム／ FTTH 回線終端装置に接続して、複数の機器で同時にインターネットを利用できるブロードバンドルータです。

無線 LAN 端末（子機）から設定する場合の設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。
本商品では、さらにホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

お知らせ

●本書では、機器名称を次のように呼びます。

機器名称	本文中で使用している名称
ADSL モデム、CATV ケーブルモデム	ブロードバンドモデム
FTTH 回線終端装置	回線終端装置

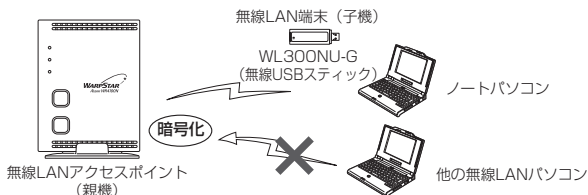
■無線 LAN 通信

● IEEE802.11g、IEEE802.11b または IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信を行うことができます。

※ 無線で届く範囲は環境によって異なります。
※ IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信する場合、伝送速度は最大 150Mbps（規格値）となります。

● 無線 LAN 内のセキュリティ対策

他の無線 LAN パソコンから接続されたり、通信が傍受されるのを防ぎます。（☛P58）

※本商品にはあらかじめ、プライマリ SSID には AES、セカンダリ SSID には WEP の暗号化キーが設定されており、セキュリティがほどこされています。

● 無線 LAN 端末（子機）を増設する（機能詳細ガイド）

無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

11n テクノロジーでの通信	：WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL300NU-G
IEEE802.11b 通信	：WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL54SE/WL54SE2/WL54TE
IEEE802.11g 通信	：WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL54SE/WL54SE2/WL54TE

※ 11n テクノロジーでの通信で WL130NC を増設した場合は、デュアルチャネルモード（HT40）の通信はできません。HT20 での通信になります。
※ WL54AG-SD、WL54AG（S）は WL54AG に含まれます。
※接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。

また、無線 LAN アクセスポイント（親機）が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。）

無線 LAN は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

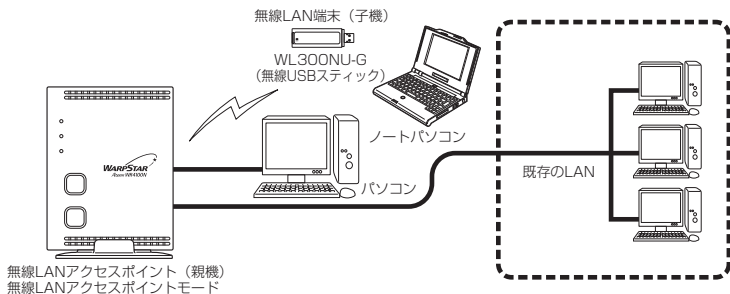
● WPS 機能に対応

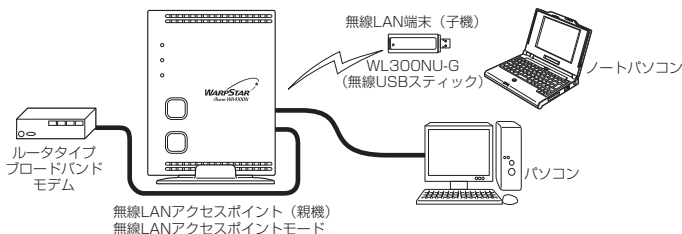
WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。（☛P106）設定方法には、らくらくスタートボタンによる設定の他、PIN 方式による設定があります。なお、設定するには、無線 LAN 端末（子機）側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続・セキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

■本商品を無線 LAN アクセスポイントモードで使う

● 既存 LAN に接続する場合

既存 LAN に有線・無線で接続する場合に、本商品のルータ機能を停止してハブや無線 LAN アクセスポイントモードで使用することができます。（☛P72）

● ルータに接続する場合

別途ご利用のルータタイプのブロードバンドモデムに接続するときには、本商品のルータ機能を停止して無線 LAN アクセスポイントモードで接続します。（☛P72）

■セキュリティ対策をする

ルータ機能により、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。（機能詳細ガイド）

- IP パケットフィルタリング
- 不正アクセス検出機能
- インターネット悪質サイトブロック
- アドバンスド NAT（IP マスカレード／NAPT）
- ダイナミックポートコントロール機能

■マルチ SSID

本商品では 2 つの SSID（プライマリ／セカンダリ）を利用可能です。（機能詳細ガイド）

● プライマリ SSID
（初期値：本商品側面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID)」、WARPSTAR-xxxxxx）
暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。（初期値は AES）
AES が設定されている場合、11n テクノロジーによる高速通信が利用可能。

● セカンダリ SSID
（初期値：本商品側面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID)」の末尾に「-W」がついたもの、WARPSTAR-xxxxxx-W）
暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。（初期値は 128bitWEP）
AES が設定されている場合、11n テクノロジーによる高速通信が利用可能。
※セカンダリ SSID には、工場出荷時の状態で下記の制限があります。
・クイック設定 Web（☛P54）に接続できない。
・WR4100N（親機）に有線で接続された端末に接続できない。（ルータモード時のみ）
・WR4100N（親機）にプライマリ SSID で接続された端末に接続できない。
制限を解除したい場合は、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 設定」の「対象ネットワークを選択」でセカンダリ SSID を選択し、「無線 LAN アクセスポイント（親機）設定」で「ネットワーク分離機能」を「使用しない」に設定してください。（機能詳細ガイド）

両 SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な無線 LAN 端末（子機）と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な無線 LAN 端末（子機）が共存可能です。

なお、らくらく無線スタート利用時には、無線 LAN 端末（子機）の無線 LAN 規格に応じて、どちらの SSID に接続するかは自動選択・設定されますので、通常、2 つの SSID の存在を意識していただく必要はありません。

■デュアルチャネル

本商品では、無線 LAN 通信で利用する通信チャネルの幅を、従来の 20MHz 幅から 40MHz 幅に拡大することにより、従来比約 2 倍の通信速度（理論値最大 150Mbps）を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。（初期値は「使用する」）
本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz 帯（計 7 チャネル）です。（機能詳細ガイド）

■オートチャネルセレクト

本商品の起動時に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz 帯で電波状態の良いチャネルを自動選択します。（機能詳細ガイド）

■ゲーム機を接続する

Wii、ニンテンドー DS、「プレイステーション 3」、PSP「プレイステーション・ポータブル」および“Xbox 360”などネットワークゲーム機を接続することができます。使用するゲーム機やゲームソフトが PPPoE での通信を前提としている場合は、PPPoE ブリッジ機能（機能詳細ガイド）で接続できます。（※使用する回線が PPPoE 接続方式の場合のみ）

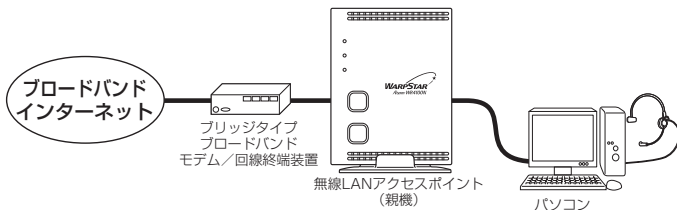
■パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

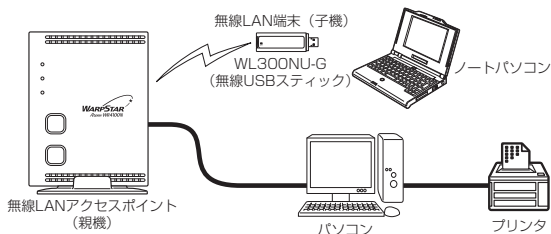
次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

・ポートマッピングの設定（☛P71）

・PPPoE ブリッジ機能（☛P69）

・IPv6 ブリッジ機能（☛P70）

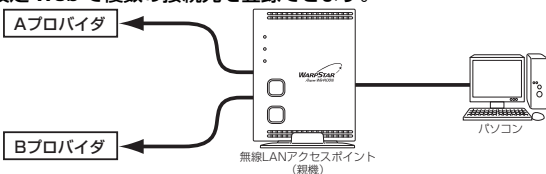
また、UPnP 機能を使用して“Windows Live™ Messenger”、Windows®XP の“Windows Messenger”サービスなどで TV 電話などの機能をご利用になれます。（☛P71）

■ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

（機能詳細ガイド）

※本商品の機能ではありません。Windows® の共有機能の設定になります。

■インターネットの通信を切断する

・ クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で切断できます。（自動で再接続を行います。）（機能詳細ガイド）

■複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する

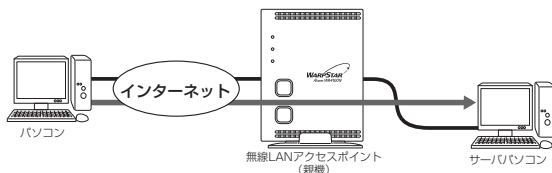
クイック設定 Web で複数の接続先を登録できます。

● PPPoE マルチセッション（☛P68）

1 つの回線契約で複数(最大 5 セッション)の接続先へ同時に接続を行うことができます。

※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されている必要があります。
同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事業者やプロバイダにご確認ください。

■SOHO で使用するときに便利な機能

● ホームページを公開するなど､外部にサーバを公開する（機能詳細ガイド）

ポートマッピング（アドバンスド NAT オプション）、DMZ ホスト機能を利用して外部にサーバを公開できます。

● 会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する（VPN（PPTP/IPsec）パススルー機能）（機能詳細ガイド）

VPN（Virtual Private Network：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。

■知っておくと便利な機能

● ECO モードに設定する（☛P66）

本商品の一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。

● バージョンアップする（☛P78）

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。

●設定を保存する（機能詳細ガイド）

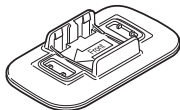
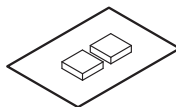
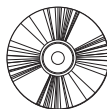
クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定内容を復元することができます。

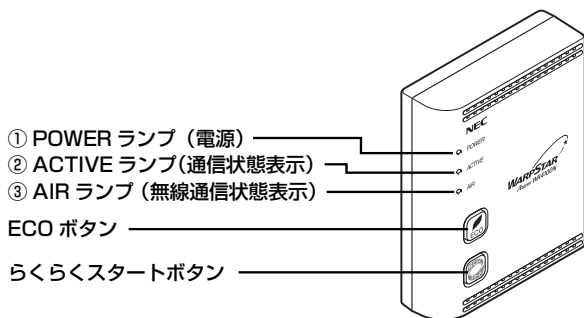
● 初期化する（☛P134）

設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度初めから設定したいときにお使いいただけます。

箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

● 構成品

各部の名称とはたらき

WR4100N（親機）

【ランプ表示】

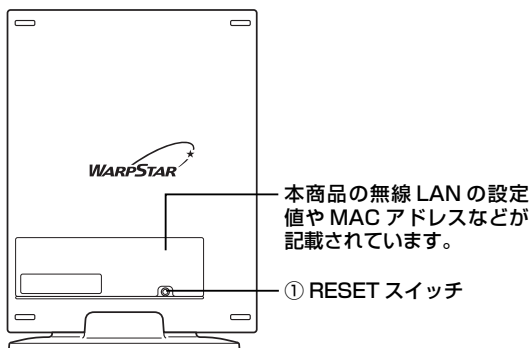
ランプの種類	ランプの色（つきかた）	本商品の状態
① POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
		らくらくネットスタートでローカルルータモード／無線 LAN アクセスポイントモードを検出したとき
	緑（遅い点滅）	らくらくネットスタートモード認識中（ACTIVE、AIR ランプと同時点滅）
		ECO モード起動中
	緑（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛「つなぎかたガイド」参照）
	橙（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛「つなぎかたガイド」参照） らくらくネットスタートで PPPoE モードを検出したとき（ACTIVE、AIR ランプと同時点滅）
	緑橙（点滅）	WPS で無線設定中
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき
		らくらく無線スタートの設定が完了したとき
		WPS で無線設定が完了したとき
	赤（点灯）	らくらく無線スタートに失敗したとき
	赤（点滅）	初期化準備状態
		らくらくネットスタートで認識失敗したとき（ACTIVE、AIR ランプと同時点滅）
		WPS で無線設定が失敗したとき
	消灯	電源が入っていないとき

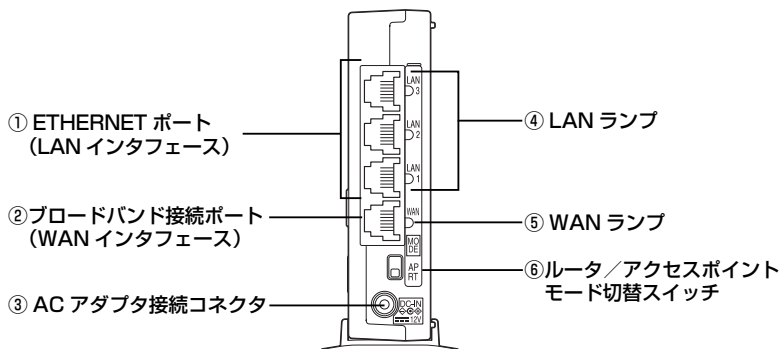
ランプの種類	ランプの色（つきかた）	本商品の状態
② ACTIVE ランプ（通信状態表示）（※）	緑（点灯）	PPPoE モードの場合に PPP リンクが確立しているとき
		ローカルルータモードの場合に WAN 側に IP アドレスが設定されているとき
	橙（点灯）	無線 LAN アクセスポイントモードのとき
	橙（点滅）	らくらくネットスタートで PPPoE モードを検出したとき（POWER、AIR ランプと同時点滅）
		無線 LAN アクセスポイントモードで IP アドレスを競合検出したとき（☛P119）
	緑（速い点滅）	PPPoE モードの場合に相手からの応答を確認しているとき（☛P117）
	緑（遅い点滅）	らくらくネットスタートモード認識中（POWER、AIR ランプと同時点滅）
		PPPoE モードの場合に PPP 認証を再確認しているとき（1 秒間隔）（☛P117）
	赤（点滅）	らくらくネットスタートで認識失敗したとき（POWER、AIR ランプと同時点滅）
	消灯	PPPoE モードの場合に PPP リンクが確立していないとき
		ローカルルータモードの場合に WAN 側に IP アドレスが設定されていないとき
③ AIR ランプ（無線通信状態表示）（※）	緑（点灯）	IEEE802.11g＋b(＋11n テクノロジー)モードで通信可能なとき
	緑（速い点滅）	IEEE802.11g＋b(＋11n テクノロジー)モードでデータ送受信しているとき
	緑（遅い点滅）	らくらくネットスタートモード認識中（POWER、ACTIVE ランプと同時点滅）
	橙（点滅）	らくらくネットスタートで PPPoE モードを検出したとき（POWER、ACTIVE ランプと同時点滅）
	赤（点滅）	らくらくネットスタートで認識失敗したとき（POWER、ACTIVE ランプと同時点滅）
	消灯	無線 LAN を使用しないとき

（※）ECO モード起動中は消灯します。（☛P66）

【設定ボタン】

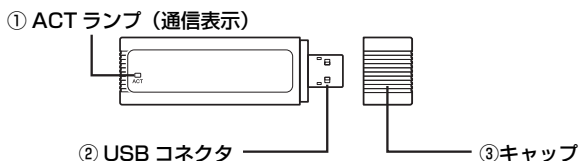
名　称	説　明
ECO ボタン	ECO モードに設定するときに使用します。（☛P66）
らくらくスタートボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。（☛「つなぎかたガイド」参照）
	らくらくネットスタートを起動するときに使用します。（☛「つなぎかたガイド」参照）

● 側面図

名　称	説　明
① RESET スイッチ	初期化するときに使用します。（☛P135）

● 背面図

名　称	説　明	
① ETHERNET ポート（LAN インタフェース）	パソコンまたはゲーム機などと接続します。	
②ブロードバンド接続ポート（WAN インタフェース）	ブロードバンドモデム／回線終端装置と接続します。	
③ AC アダプタ接続コネクタ	WR4100N 用 AC アダプタを接続します。	
④ LAN ランプ（※）	緑（点灯）	ETHERNET ポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	ETHERNET ポートがデータ送受信しているとき
	消灯	ETHERNET ポートのリンクが確立していないとき
⑤ WAN ランプ（※）	緑（点灯）	ブロードバンド接続ポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	ブロードバンド接続ポートがデータ送受信しているとき
	消灯	ブロードバンド接続ポートのリンクが確立していないとき
⑥ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチ	無線 LAN アクセスポイントモード（AP）へ切り替えるときに使用します。（☛P76） ※工場出荷時は、RT 側です。	

（※）ECO モード起動中は消灯します。（☛P66）

WL300NU-G（無線 USB スティック）

USB スティックセットにのみ添付されています。

① ACT ランプ

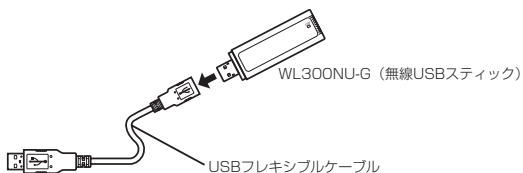
ACT ランプのつきかた	WL300NU-G の状態
速い点滅	通信中
遅い点滅	・通信待機中 （通信可能状態であるが、データ送受信が行われていない） ※ただし、点滅周期が長い場合があります。 ・無線 LAN アクセスポイント（親機）サーチ中 （無線接続が確立されていない）
消灯	電源が入っていないとき （無線機能が「無効」のとき、またはドライバ無効の状態）

② USB コネクタ
　パソコンの USB ポート（USB2.0 推奨）に差し込み接続します。
③キャップ
　使用するときは、キャップを外してください。

お願い

●WL300NU-G（無線 USB スティック）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（ETHERNET ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。

お知らせ

●折り曲げ可能な USB フレキシブルケーブル（添付品）を接続すると、WL300NU-G（無線 USB スティック）の角度や向きを自由に調整することができます。

あらかじめ確認してください

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

本商品をお使いの前にあらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。
本商品の設定に必要な情報（接続ユーザー名／接続パスワード、IP アドレス）を契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。

※ 接続できるサービスについては、ホームページ AtermStation の「サポートデスク」－「動作検証情報」にある「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること（☛P35）
- プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること
- ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
  本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておいてください。（☛P36）

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに有線で接続する場合〉

- ETHERNET（イーサネット） ポート（LAN ポート）を装備していること
  お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
- TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
  必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。Windows® の場合のインストール方法はホームページに掲載されている「Ⓦ機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してください。
- パソコンのネットワークの設定を確認すること（☛P33）

〈WL300NU-G（無線 USB スティック）から無線で接続する場合〉

- USB ポート（USB2.0 推奨）を装備していること

※ USB ポート 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。
WL300NU-G（無線 USB スティック）の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

〈接続可能な機器〉

OS など	無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポート	WL300NU-G（無線 USB スティック）
Windows®	○	○ Windows Vista® および Windows® 7/XP/2000 Professional（日本語版）のみ
Macintosh	○	×
その他 OS（Linux など）	○	×
ゲーム機	○	×

※ Windows Vista® をご利用の場合
本商品は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版のみに対応しています。
Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコンまたはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。
自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Windows® 7 をご利用の場合
本商品は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x 64）版に対応しています。
本商品の Windows® 7 のサポートは、Windows® 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows® 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

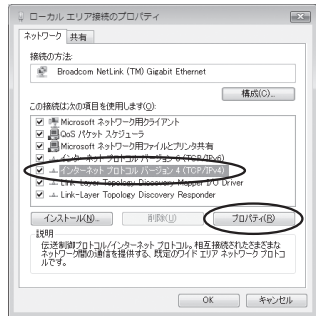
お願い

●OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ AtermStation から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認（有線接続の場合）

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows Vista®/Windows® 7 の場合

1. ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックする
3. ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
   ※Windows® 7 の場合は、［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［アダプターの設定の変更］をクリックします。
4. ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
5. ［インターネットプロトコル　バージョン 4(TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

（画面は、Windows Vista® の例です。）

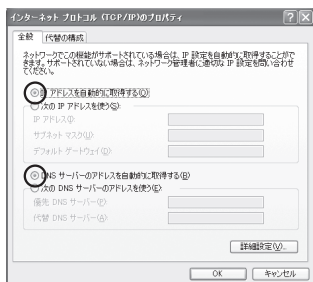
6. ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する
7. ［OK］をクリックする
8. ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

- Windows Vista®/Windows® 7 の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）Windows® 7 の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

Windows® XP をご利用の場合

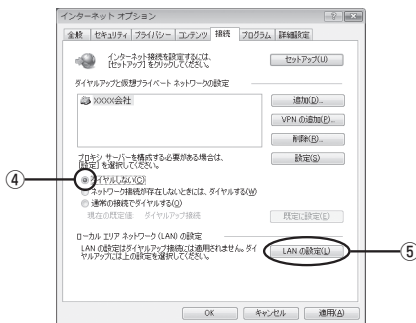
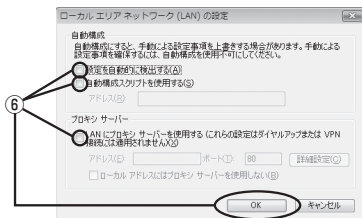
1. [スタート] － [コントロールパネル] を選択する
2. [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
3. [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
4. [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル（TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
5. [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

6. [OK] をクリックする
7. [OK] をクリックする

お知らせ

- Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows Vista® で Internet Explorer 7.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer を起動する。
② ［ツール］の［インターネットオプション］を選択する。
③ ［接続］タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択する。
※グレーアウトしている場合は、⑤にお進みください。

⑤ ［LAN の設定］をクリックする。
⑥ ［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］の ☑ を外して［OK］をクリックする。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。

⑦ ［OK］をクリックする。

● プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

Windows® で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows Vista® で Internet Explorer 7.0 を使用している場合の例です。なお、Windows® 7/XP/2000 Professional で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

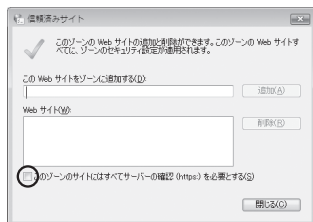
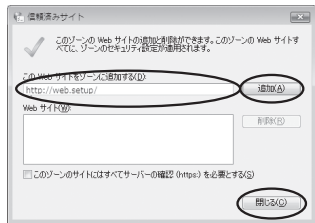
1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［クラシック表示］（Windows® XP の場合は［クラシック表示に切り替える］）－［インターネットオプション］をダブルクリックする

※Windows® 7 で Internet Explorer 8.0 をご利用の場合は、［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［インターネットオプション］をクリックします。

※ Windows® 2000 の場合は、［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［インターネットオプション］をダブルクリックします。

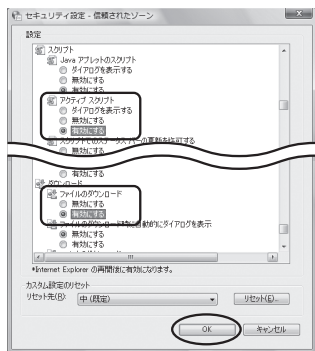
2 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

3 ［サイト］をクリックする

4 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする］のチェックを外す

5 ［このWebサイトをゾーンに追加する］に「http://web.setup/」を入力し［追加］をクリックし、［閉じる］（Internet Explorer 6.0の場合は［OK］）をクリックする

※ルータモードでご利用の場合、クイック設定Webによる初期化（☛P134）を行うと、再起動後は自動的に本商品の工場出荷時のIPアドレス（192.168.0.1）でクイック設定Web画面が開きますので、本商品のIPアドレス「http://192.168.0.1/」も追加することをお勧めします。

※IPアドレス（工場出荷時は192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IPアドレスを入力します。（例：「192.168.0.1」）無線LANアクセスポイントモードに設定した場合は、自動的に設定されたIPアドレスを入力してください。IPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。
らくらくネットスタートを使用してローカルルータモードを判別した場合は、IPアドレスを192.168.0.1または192.168.1.1と入力してください。

6 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

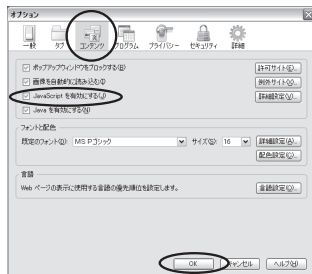
7 画面をスクロールし、［アクティブスクリプト］と［ファイルのダウンロード］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

8 ［はい］をクリックする

9 ［適用］をクリックする

10 ［OK］をクリックする

Windows® で Firefox をご利用の場合

以下は、Windows Vista® で Firefox 3.0 を使用している場合の例です。

1. Firefox を起動する
2. メニューバーの［ツール］－［オプション］をクリックする
3. ［コンテンツ］をクリックする
4. ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる
5. ［OK］をクリックする

Windows® で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

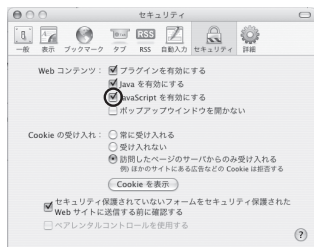
Mac OS で Safari をご利用の場合

以下は、MacOS で Safari 2.0 を使用している場合の例です。

1 Safari を起動する

2 メニューバーの［Safari］－［環境設定］をクリックする

3 ［セキュリティ］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる

5 メニューバーの［Safari］から［Safari 終了］をクリックし、Safari を終了させる

Mac OS で Firefox をご利用の場合、または、Mac OS で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

設定方法について

本商品を設定するには、「つなぎかたガイド」を参照して本商品に接続後、らくらくネットスタートで設定してください。
（インターネット接続に必要な本商品の動作モード設定は、らくらくネットスタートで設定します。）

A ● らくらく無線スタート（無線 LAN 端末（子機）との無線接続を自動で設定する）

WL300NU-G（無線 USB スティック）を接続する場合の設定方法です。
（☛「つなぎかたガイド」参照）
無線 LAN 端末（子機）のドライバのインストールや無線設定を簡単に行うことができます。設定には、サテライトマネージャのインストールが必要です。

<サテライトマネージャが使用できるパソコン>
Windows Vista® および Windows® 7/XP/2000 Professional（日本語版）

※ WL300NU-G（無線 USB スティック）は Windows® Me/98、Macintosh ではご使用になれません。
※ 音声ガイドを再生するには、パソコンに WAV ファイルが再生可能なサウンドデバイスが必要になります。
※ Windows Vista® および Windows® 7/XP（Service Pack 2 または 3）を搭載した無線 LAN 内蔵パソコンなどの場合は、らくらく無線スタート EX で設定することができます。

B ● らくらくネットスタート（インターネット接続設定を自動で設定する）

本商品のインターネット接続のための設定を、らくらくネットスタート機能によって自動的に行うことができます。（☛「つなぎかたガイド」参照）
らくらくネットスタートは、らくらくスタートボタンを押しながら電源を入れることで、自動的に本商品のＷＡＮ側の回線状態を判別または設定を行う機能です。

C ● クイック設定 Web（無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定をする）

無線 LAN アクセスポイント（親機）の基本的な設定や詳細な設定を行いたいときに利用します。（☛P54）
WWW ブラウザの画面（クイック設定 Web）で設定します。

※ らくらくネットスタートで WAN 側回線の判別に失敗した場合の手動設定もここで行います。
※ ドライバのインストール、無線 LAN 端末（子機）の無線設定については行えません。

本商品をご購入後、はじめてクイック設定Webを開くと「管理者パスワードの初期設定」の次に「らくらくWebウィザード」が表示され、インターネット接続のための基本的な設定を行うことができます。（らくらくネットスタートで設定完了している場合は表示されません）

※ WL300NU-G（無線USBスティック）を取り付けたパソコンから無線接続で設定を行いたい場合は、P40の A で無線設定をしておいてください。

※ 無線接続してクイック設定Webを表示させる場合、セカンダリSSIDに無線接続していると*、クイック設定Webは表示できません。(☛P22)その場合は、いったん有線で無線LANアクセスポイント（親機）とパソコンを接続して、クイック設定Webを表示してください。設定が終わったら、再度無線接続してください。

＊ WEPのみ対応の無線LAN端末（子機）から無線接続する場合など。

＜設定できるWWWブラウザ＞

〈画面例〉

■ Windows Vista® の場合
Internet Explorer 7.0に対応

■ Windows® 7の場合
Internet Explorer 8.0に対応

■ Windows® XPの場合
Internet Explorer 7.0に対応
（Windows® XP Service Pack 2または3の場合）
Internet Explorer 6.0 SP2に対応
（Windows® XP Service Pack 2の場合）
Firefox 2.0/3.0に対応
Opera 9.0に対応

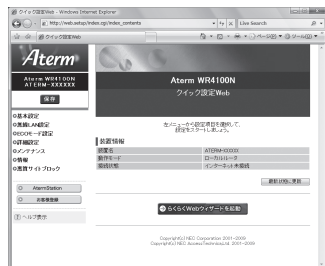
■ Windows® 2000 Professionalの場合
Internet Explorer 6.0 SP1に対応
Firefox 2.0/3.0に対応
Opera 9.0に対応

■ Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5の場合
Safari 3.1に対応（v10.5 Leopardの場合）
Safari 2.0に対応（v10.4 Tigerの場合）
Safari 1.3に対応（v10.3 Pantherの場合）
Firefox 2.0/3.0に対応
Opera 9.0に対応

■ゲーム系
PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザに対応

※ PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、表示モードを標準またはジャストフィットでご利用ください。

※ PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、全角文字の指定できる最大文字数が他のブラウザと異なり、入力できる文字数は最大全角21文字です。

※ クイック設定Webを表示させる場合は、AESの暗号化方式で無線接続してください。らくらく無線スタートで無線接続すると、セカンダリSSIDに接続されるため、クイック設定Webが表示できませんのでご注意ください。(☛P22)

無線 LAN アクセスポイント（親機）を設置する

無線 LAN アクセスポイント（親機）の置き場所を決める

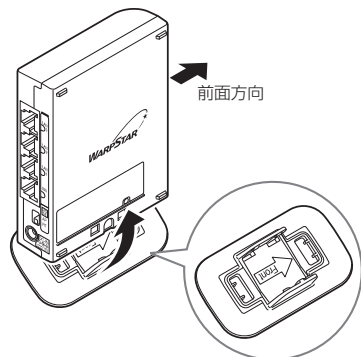
無線 LAN アクセスポイント（親機）には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。
実際の接続は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

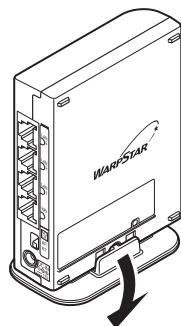
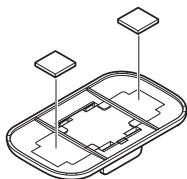
- **無線 LAN アクセスポイント（親機）はブロードバンドモデム／回線終端装置のそばに置く**
- **無線 LAN アクセスポイント（親機）用の電源コンセントはあるか？**
  電源コンセントを確保しましょう。
- **無線 LAN 端末（子機）は無線 LAN アクセスポイント（親機）から無線で電波の届く距離に置く**
  設定するときは無線 LAN アクセスポイント（親機）のそばで設定しましょう。

お知らせ

●無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）は 1m 以上離してお使いください。
●近接するアクセスポイントと異なるチャネルに設定してご利用ください。
●本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。

無線 LAN アクセスポイント（親機）を設置する

スタンドの FRONT 矢印方向を本体の前面方向に合わせて、図のようにスタンドを取り付けます。

! *スタンドを外す場合は*

図のように、スタンドを矢印の方向にひねるように、取り外してください

ラバーシートの取り付け

- ラバーシート（添付品）は設置のための仮固定用であり、固定を保証するものではありません。過度の荷重を加えたり、ケーブルを引っ張ったりした場合に設置した床から離脱するおそれがあります。
- ほこり･ゴミなどがラバーシート（添付品）に付着すると床への密着強度が減少します。その場合には中性洗剤や水にてほこり・ゴミなどを洗い流してください。洗浄にて密着強度が増します。洗浄の際には、スタンドを本体から取り外してください。
- ラバーシート（添付品）をご使用にならない場合には、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
  誤って飲み込んだ場合には医師の診断を受けてください。

●設置の際は、両側に 20mm（スタンドの幅）以上のスペースを確保してください。
●狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり、火災の原因となることがあります。
●通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
【例】

●本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
●無線 LAN アクセスポイント（親機）の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。

無線LAN端末（子機）を接続する場合

ここでは無線LAN端末（子機）を接続する場合の注意事項などについて説明しています。実際の無線LAN端末（子機）の接続や設定は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

WL300NU-G（無線USBスティック）で接続する場合

WL300NU-G（無線USBスティック）をパソコンに取り付けるときは、①ドライバのインストール→②無線LANの設定の順で設定を行っていきます。実際の手順は「つなぎかたガイド」を参照してください。

※ WL300NU-G（無線USBスティック）を取り付けることができるパソコンは、Windows Vista® およびWindows® 7/XP/2000 Professionalのみです。Windows® Me/98、Macintoshではご利用になれません。
※ WL300NU-G（無線USBスティック）は、USBポート（USB2.0推奨）を装備したパソコンに取り付けることができます。

【WL300NU-G（無線USBスティック）ご使用上の注意】

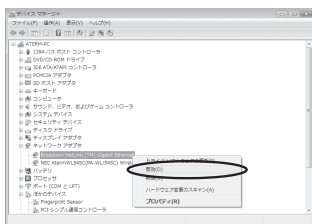
●USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。WL300NU-G（無線USBスティック）のUSBハブとの接続は保証の限りではありません。
●WL300NU-G（無線USBスティック）のUSBコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
●USBコネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
●WL300NU-G（無線USBスティック）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前にWL300NU-G（無線USBスティック）を取り付け直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
●他の無線LAN端末（子機）のソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンで、LANカードおよびLANボード機能を停止させていない場合は、WL300NU-G（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールできないことや、正しく通信できないことがあります。他の無線LAN端末（子機）やLANカードおよびLANボード機能を停止させてください。（☛P46、47、48）
●無線LAN内蔵パソコンにWL300NU-G（無線USBスティック）を取り付けて使う場合は、必ず内蔵無線LANの［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。
●ユーティリティをインストールする前に誤って、WL300NU-G（無線USBスティック）をパソコンに取り付けて、ハードウェアウィザードが起動した場合は、［キャンセル］をクリックして、WL300NU-G（無線USBスティック）を取り外してください。

- WL300NU-G（無線 USB スティック）と無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離は、1m 以上離してお使いください。無線 LAN アクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。
- 隣り合う USB ポートの間隔により、複数のポートを同時に使用できない場合は、USB フレキシブルケーブル（添付品）を接続してご利用ください。（☛P30）
- USB インタフェースに WL300NU-G（無線 USB スティック）を取り付けた場合、電力不足となり、お使いいただけない場合があります。
- WL300NU-G（無線 USB スティック）と WL300NC-G などの無線 LAN カードを同時に使用することはできません。同時に取り付けてしまった場合は、両方をいったん取り外して取り付け直してください。それでも動作しない場合は、それぞれのドライバをアンインストールしてから取り付け直してください。
- WL300NU-G（無線 USB スティック）をパソコンに取り付けてもランプが点灯せず動作しない場合は、いったん WL300NU-G（無線 USB スティック）を取り外したうえで再度取り付けてください。

他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

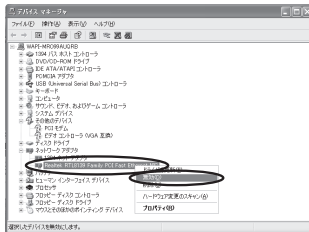
他の無線 LAN カードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNET インタフェースを搭載したノートパソコンで、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させていない場合は、無線 LAN 端末（子機）が使用できない場合があります。以下の操作で他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

〈Windows Vista®/Windows® 7 の場合〉

① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）—［コントロールパネル］をクリックする
② ［システムとメンテナンス］（または［システムとセキュリティ］）−［システム］をクリックする
③ ［デバイスマネージャ］（または［デバイスマネージャー］）をクリックする
④ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックする
⑤ ［ネットワーク アダプタ］（または［ネットワークアダプター］）をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑦ ［はい］をクリックする

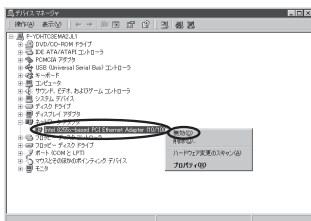
? 他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

〈Windows® XP の場合〉

① ［スタート］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
③ ［システム］アイコンをダブルクリックする
④ ［ハードウェア］タブをクリックする
⑤ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑥ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑧ ［はい］をクリックする

? 他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

〈Windows® 2000 Professional の場合〉

① ［スタート］—［設定］—［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［ハードウェア］タブをクリックする
④ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する

⑦ ［はい］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）を手動で設定するには

クイック設定 Web をはじめて起動すると、管理者パスワードの初期設定の次に、らくらく Web ウィザードが起動します。らくらく Web ウィザードでは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続した回線ごとに動作モードを設定し、インターネットの接続先を登録します。

お願い

●クイック設定 Web が起動しない場合は、パソコンのネットワークの設定を見直してください。（☛P33）

お知らせ

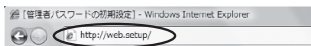
●クイック設定Web、らくらくWebウィザードが利用できるWWWブラウザについては、「設定できる WWW ブラウザ」（☛P41）を参照してください。
●説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
●クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。
●PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。

らくらく Web ウィザードで設定する

お知らせ

●以下の手順は既にらくらく Web ウィザードで本商品の設定が完了している場合は表示されません。この場合のクイック設定 Web での設定の方法についてはホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

1 **パソコンなどを起動する**

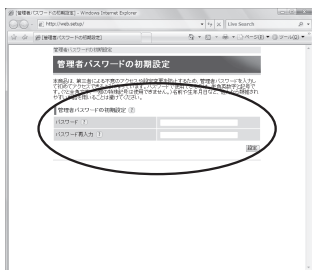
2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く**

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力して開くこともできます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/
※サテライトマネージャをインストールした場合は、デスクトップにある［クイック設定 Web］のアイコンをダブルクリックして開くこともできます。

クイック設定 Web が表示されない場合は、P116 を参照してください。

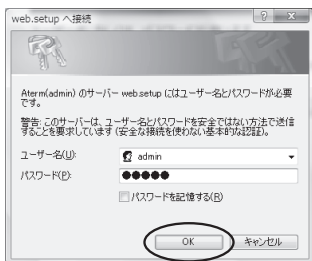
（次ページに続く）

3 管理者パスワードの初期設定を行う

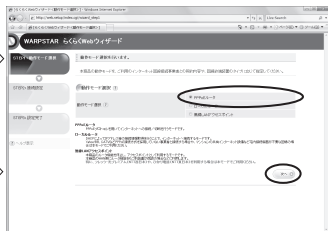
画面にしたがって任意の文字列を入力してください。一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

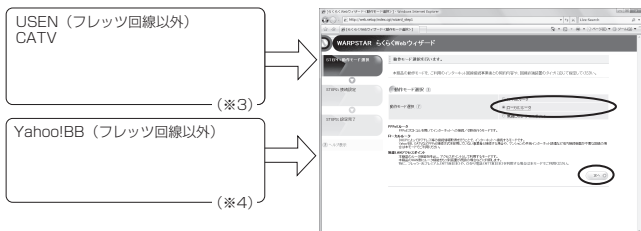
●管理者パスワードは、クイック設定 Web を起動する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	

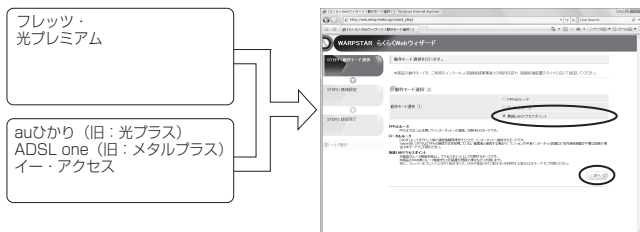
4 ［設定］をクリックする

5 ユーザー名に「admin」を、パスワードに手順 3 で入力した「管理者パスワード」を入力し、［OK］をクリックする

6 動作モードを選択し、［次へ］をクリックする

接続事業者（例）（敬称略）ごとに動作モードを選択してください。

● PPPoE ルータを選択する場合

（※1）ルータ内蔵モデムをご利用の場合は、無線LANアクセスポイントモードをお勧めします。
（※2）IP電話をご利用の場合で、IP電話対応機器にルータ機能が内蔵されている場合は、無線LANアクセスポイントモードをお勧めします。

●ローカルルータを選択する場合

（※3）IP電話をご利用の場合で、IP電話対応機器にルータ機能が内蔵されている場合は、無線LANアクセスポイントモードをお勧めします。
（※4）無線LANパック適用時は、無線LANアクセスポイントモードをお勧めします。

●無線 LAN アクセスポイントを選択する場合

お知らせ

●動作モードがわからないときは

接続しているブロードバンドモデムに PPP ランプがあり、点灯している場合は、無線 LAN アクセスポイントに設定して、接続を確認してみてください。

●ローカルルータと無線 LAN アクセスポイントの動作モードの違いは、次の通りです。

	お勧めの環境	制限事項など
ローカル ルータモード	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合	無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
無線 LAN アクセスポイント モード	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合	無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。悪質サイトブロックは、ご利用いただけません。

（次ページに続く）

7 表示される画面に合わせて、インターネット接続に必要な情報を入力する

●接続先設定〈PPPoE〉の場合

①［接続先名］にプロバイダの名称など接続先としてわかる名称を入力する。
好きな名称でかまいません。

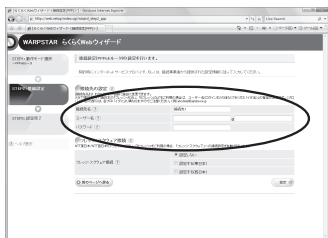
②接続事業者／プロバイダからの情報にしたがって「ユーザー名」と「パスワード」を入力する。

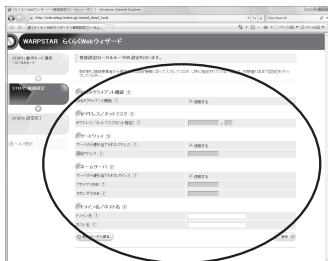
※接続事業者／プロバイダとの契約時に入手した接続情報の書類で確認し、文字列を間違えないように入力してください。

※フレッツの場合は、@以降のドメインが必要です。

※メールのユーザー名やドメイン、パスワードでは接続できません。

③フレッツ・スクウェアの接続先登録を行うかどうかの選択をします。

※「B フレッツ」「フレッツ・ADSL」をご利用の場合のみ選択します。
静的ルーティングの設定も自動的に行われます。

●接続先設定〈ローカルルータ〉の場合

ご加入の接続事業者の案内にしたがって入力してください。接続事業者の案内に何も記載されていない場合は何も設定する必要はありません。

次の画面が表示された場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンドモデムの接続を確認し、［OK］をクリックします。

DHCP クライアント機能：

WAN 側の IP アドレスを自動で取得する場合は［使用する］に☑します。接続事業者から固定の IP アドレスを指定されている場合はチェックを外してください。

IP アドレス／ネットマスク：

接続事業者から固定 IP アドレスを指定されている場合は、その IP アドレス、ネットマスクを入力します。WAN 側を DHCP クライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイ：

接続事業者から指定されている場合は［使用する］の☑を外し、［固定アドレス］に入力します。特に指定されていない場合は特に指定する必要はありません。

ネームサーバ：

サーバから自動で取得する場合は、［使用する］に☑します。接続事業者から指定されている場合は、チェックを外し、そのアドレスを入力します。

ドメイン名／ホスト名：

接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでかまいません。

●無線 LAN アクセスポイント設定の場合

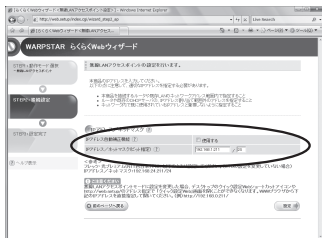
IP アドレスが競合する場合や IP アドレスを手動で設定する場合は、「IP アドレス自動補正機能」の［使用する］の☑を外し、ご使用の環境に合わせて無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレス／ネットマスクを設定します。

（例）ルータタイプの ADSL モデムの IP アドレスが「192.168.1.1」の場合

IP アドレス　：192.168.1.211 など

ADSL モデムと同じ値（192.168.1）　他の機器で未使用の値（211）

ネットマスク（ビット指定）：24

※フレッツ・光プレミアムに接続する際は、IP アドレスを「192.168.24.211」に設定してください。

※ あとからクイック設定 Web のページを開くには、WWW ブラウザのアドレス欄に、ここで設定した IP アドレスを入力します。
例：　http://192.168.1.211/（http://web.setup/ やデスクトップの［クイック設定 Web］のアイコンからは開けなくなりますのでご注意ください。）

8　**入力が完了したら、［設定］をクリックする**

これでインターネット接続のための基本設定は完了です。

！ インターネット接続の設定（らくらく Web ウィザード）をもう一度行いたい場合は

らくらく Web ウィザードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）をはじめて設定する場合のみ表示されます。もう一度設定する場合は、一度初期化してから設定を行ってください。（☛P134）なお、初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

クイック設定 Web で設定を行うには

クイック設定 Web で設定を行うには、あらかじめ無線 LAN アクセスポイント（親機）とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。
無線 LAN 端末（子機）から設定を行う場合は、「つなぎかたガイド」を参照して無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定が完了してから設定してください。

お知らせ

●クイック設定Web、らくらくWebウィザードが利用できるWWWブラウザについては、「設定できる WWW ブラウザ」（☛P41）を参照してください。
●説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
●クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。

お願い

●クイック設定 Web の設定は、［設定］をクリックしたあと［保存］をクリックしてからでないと保存されません。

クイック設定 Web を利用するための準備

無線 LAN アクセスポイント（親機）と接続できているかどうかは、IP アドレスが正しく取得できているかどうかで確認することができます。
※無線 LAN アクセスポイントモードの場合は、P56 へお進みください。

■ IP アドレスの確認方法

＜ Windows Vista®/Windows® 7 の場合＞

① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする
② 「ipconfig」と入力して、［Enter］キーを押す
③ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」（または「192.168.1.XXX」）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

＜ Windows® XP/2000 Professional の場合＞

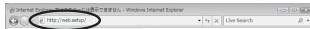
① ［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする
② 「ipconfig」を入力して［Enter］キーを押す
③ IP アドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」（または「192.168.1.XXX」）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

＜ Mac OS X の場合＞

以下は Mac OS X v10.4 Tiger の場合の例です。
① アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する
② ［表示］を［内蔵 Ethernet］にして、［TCP/IP］タブをクリックする
③ IP アドレスが「192.168.0.XXX」（または「192.168.1.XXX」）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

クイック設定 Web の起動のしかた

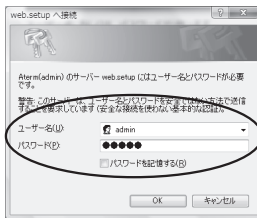
クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。
設定方法については、ホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

① パソコンなどを起動する
② WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く

※ 無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力して開くこともできます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例：http://192.168.0.1/
※ 無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合は、P56 を参照してください。

③ 次の画面が表示された場合は、管理者パスワードの初期設定を行う
※ 画面にしたがって任意の文字列を入力してください。
※ この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

●管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	

④ ユーザー名とパスワードを入力する
※ユーザー名には「admin」と半角小文字で入力し、パスワードには③で設定した管理者パスワードを入力してください。

⑤ ［OK］をクリックする
⑥ クイック設定 Web が表示される
※インターネット接続設定が済んでいない場合は、らくらく Web ウィザードが表示されます。
P50 の手順 6 以降を参照してインターネット接続の設定を行ってください。

クイック設定 Web の起動のしかた（無線 LAN アクセスポイントモードの場合）

本商品の動作モードを無線 LAN アクセスポイントモードでご利用になる場合、IP アドレス自動補正機能が有効になっていると、本商品の IP アドレスは、本商品が接続しているネットワーク体系に合わせた IP アドレスになります。

その場合は、下記の手順でクイック設定 Web を起動してください。

※ IP アドレス自動補正機能を使用せずに、本商品の IP アドレスをお客様ご自身で設定した場合も下記の手順で起動できます。

① 本商品が接続しているネットワーク体系を確認して（☛P132）控えておく

控え欄	

② WWW ブラウザを起動する

③ アドレス欄に「http://X.Y.Z.211/」を入力して、クイック設定 Web のページを開く

※「X.Y.Z」は①で確認したネットワークアドレス体系です。

例：①で確認したアドレスが「192.168.1.3」の場合

→「http://192.168.1.211」と入力する

IP アドレスの競合により本商品の IP アドレスの末尾を「211」以外に設定している場合（☛P119）は、設定したアドレスを入力してください。

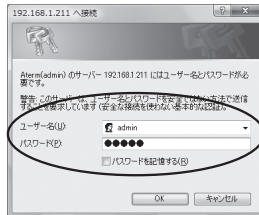
④ 次の「管理者パスワードの初期設定」画面が表示された場合は、管理者パスワードの初期設定を行う

※ 画面にしたがって任意の文字列を入力してください。

※ この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

●管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定がやり直しになります。

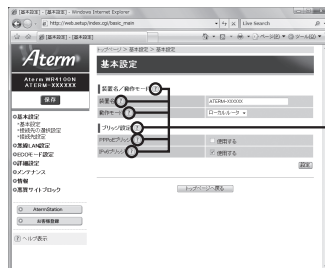
管理者パスワード控え欄	

⑤ ユーザー名とパスワードを入力する
※ユーザー名には「admin」と半角小文字で入力し、パスワードには④で控えた管理者パスワードを入力してください。

⑥［OK］をクリックする
⑦ クイック設定 Web が表示される

お知らせ

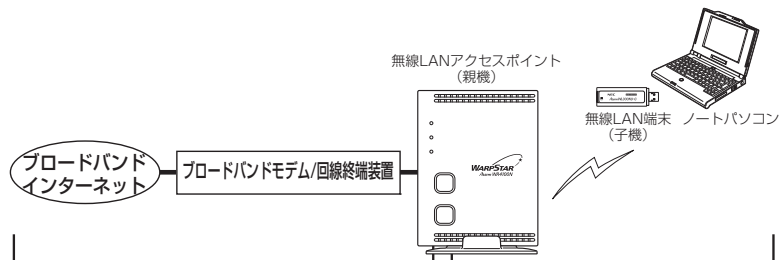
●POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが橙点滅している場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスが他の機器と競合しています。
「トラブルシューティング」の「i．無線 LAN アクセスポイントモードで ACTIVE ランプが橙点灯しない」（☛P119）を参照して本商品の IP アドレスを変更してください。

ポップアップヘルプについて

クイック設定 Web を開くと、各項目に ? のポップアップヘルプがあります。このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件（文字数など）が表示されます。

セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（ADSL ／ CATV ／ FTTH 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

WAN回線側セキュリティ機能

- IPパケット
  フィルタリング
- アドバンスドNAT
  (IPマスカレード／NAPT)
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポート
  コントロール機能
- 悪質サイトブロック機能（☛P59）

無線LAN内ネットワークセキュリティ機能

- 暗号化※
- MACアドレスフィルタリング機能
- ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）
- ネットワーク分離機能

※ WR4100N(親機)は、工場出荷時の状態で、プライマリ SSID 側のネットワークには AES、セカンダリ SSID 側のネットワークには WEP(128bit)の暗号化が設定されます。設定内容(初期値)は、本体側面の設定ラベルを参照してください。

？ セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。
  特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
  本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
  また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。
- 無線 LAN 端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
  無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

悪質サイトブロック機能を設定する

悪質サイトブロック機能は、ネットスター社の提供する「インターネット悪質サイトブロックサービス」に対応する機能です。ネットスター社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末ごとに、ブロックレベル（小学生以下、中学生、高校生、大人）を設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。

※「インターネット悪質サイトブロックサービス」は、ルータ機能を利用している場合に有効です。ルータ機能を介さない以下のような端末では無効になりますのでご注意ください。
- 無線 LAN アクセスポイントモードで利用するとき、接続しているすべての端末
- PPPoE ブリッジ機能、IPv6 ブリッジ機能による通信を行っている端末

クイック設定 Web で、[悪質サイトブロック] ー [ライセンス管理] ー [お手続き画面へ] をクリックすると（☛P60）、ネットスター社のライセンス申込 TOP ページが表示されます。必ず、このページからライセンス申込を行ってください。本商品のお客様向けに 60 日間のお試し期間が設けられております。

※「インターネット悪質サイトブロックサービス」は、ネットスター社の提供する有償サービスです。本サービスをご利用になった結果に対して、当社は責任を負いかねます。

悪質サイトブロック機能の設定

＜本商品に悪質サイトブロック機能を設定する＞

ライセンス契約の有無によらず、本機能を「使用する」に設定していないと、本サービスは利用できません。

1　WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

2　ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3　「悪質サイトブロック」の「悪質サイトブロック設定」画面で [使用する] にチェックを入れる

4　[設定] をクリックする

（次ページに続く）

5 ［保存］をクリックする

＜ライセンスの申し込みをする＞

本サービスの利用にはライセンスの申し込みが必要です。以下の手順でライセンスの申し込みを行ってください。

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理」画面で、［お手続き画面へ］をクリックする

ネットスター社のライセンス申込ページ画面が表示されます。
画面にしたがって、設定を行ってください。

＜ライセンス情報を確認する＞

ライセンス状態は、以下の手順によりいつでも確認することができます。ただし、ライセンス登録後、その情報が反映されるまで 10 分程度かかる場合があります。

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ライセンス管理」画面で、［ライセンス情報確認］をクリックしてライセンス情報を確認する

※ライセンス情報が「正規ライセンス有効」と「試用ライセンス有効」の場合に悪質サイトブロック機能が有効になります。

※48 時間の周期で自動的にライセンス情報を取得し、「正規ライセンス無効」または「試用ライセンス無効」の状態になると、悪質サイトブロックの機能が使用不可能となります。ライセンスの期限が切れた場合は、ライセンスの更新を行ってください。

＜ IP アドレスを登録する＞

本サービスを利用するには、利用する端末の IP アドレスと、その端末からのアクセスに適用するブロックレベルを、あらかじめ設定しておく必要があります。（設定していない端末からの悪質サイトへのアクセスをブロックすることはできません。）

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「ブロック対象管理」画面で［追加］をクリックする

※ブロック対象エントリ項目の削除方法
「ブロック対象管理」画面でエントリー覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の［削除］をクリックすることで削除できます。

4 プロファイル名、IP アドレス、ブロックレベルを設定する

プロファイル名　:任意の文字（半角 32 文字以内（“？”を除く）、全角 16 文字以内）を入力します。
IP アドレス　　:端末の IP アドレスを入力します。
ブロックレベル　:小学生以下 / 中学生 / 高校生 / 大人から選択します。

5 ［設定］をクリックする

6 本機能の対象になる機器が複数ある場合は、手順 3 ～ 5 を繰り返して設定する

7 ［保存］をクリックする

お知らせ

● 指定した IP アドレスが、DHCP によって別の端末に割り当てられてしまうことを防ぐため、クイック設定 Web の「詳細設定」－「DHCP 固定割当設定」で、インターネット接続端末に固有の IP アドレスを割り当てておくことをお勧めします。設定方法は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

例外サイトの登録方法

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、逆に、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外すために、そのサイトのURLを例外サイトとして登録することが可能です。

1 WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例：http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

3 「悪質サイトブロック」の「例外サイト設定」画面で、［追加］をクリックする

※設定した例外サイトの削除の方法
「例外サイト設定」画面で、エントリ一覧に表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の［削除］をクリックすることで削除できます。

4 種別を選択し、例外サイトを入力する

種別　　　：［許可］または［禁止］を選択します。

例外サイト：URLを入力してください。（ホスト名：半角最大128文字（“？”を除く）、パス：半角最大256文字（“/”、“＊”を含む、“？”を除く）まで入力できます）
※URLの最後に“＊”を指定して、ワイルドカード指定が可能です。

（例）http://121ware.com/aterm/
ホスト名　　パス（/含む）

※ワイルドカード
ファイル名やディレクトリ名を指定するときに使う、「任意の文字」を意味する特殊文字です。任意の長さの任意の文字を意味します。

5 ［設定］をクリックする

6 本機能の対象になるサイトが複数ある場合は、手順3～5を繰り返して設定する

7 ［保存］をクリックする

ブロック画面の一時解除方法

本サービスでブロック対象のサイトにアクセスすると、ブロック画面（アクセス制限画面）が表示されます。

[アクセス制限一時解除］をクリックして、クイック設定 Web 用の管理者 ID とパスワードを入力すると、一時的にブロックを解除して、ブロック対象のサイトにアクセスすることができます。

※ 一時解除される時間は 30 分です。
※ 画像のみが規制されることがあります。その場合は画像に×印が表示されます。画像の一時解除はできません。

ネットスター社　お問い合わせ先

「インターネット悪質サイトブロックサービス」についての詳細は、下記 URL をご覧ください。
http://gbb.netstar.jp/aterm/
※ E-mail のみの受付となりますので、ご了承ください。
（土日祝祭日を除く 10：00 ～ 17：00）

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定前のお問い合わせについて
・これからこのサービスの利用をお考えのお客様のご相談
・本サービスの申し込み方法について
・本サービスの仕組みやフィルタリング機能について
・本サービスの提供元ネットスター株式会社について
連絡先：sales_bb@netstar-inc.com

「インターネット悪質サイトブロックサービス」設定後のお問い合わせについて
連絡先：shop_bb@netstar-inc.com
※ 装置に関する機能や取り扱いなどでご不明な点は、裏表紙に記載の Aterm（エーターム）インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

規制ポリシー

大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
不法	違法と思われる行為	×	×	×	×
	違法と思われる薬物	×	×	×	×
	不適切な薬物利用	×	×	×	×
主張	軍事・テロ・過激派	×	×	×	×
	武器・兵器	×	×	×	×
	告発・中傷	×	×	×	×
	自殺・家出	×	×	×	×
	主張一般	×	×	×	×
アダルト	性行為	×	×	×	×
	ヌード画像	×	×	×	×
	性風俗	×	×	×	×
	アダルト検索・リンク集	×	×	×	×
セキュリティ	ハッキング	×	×	×	×
	不正コード配布	×	×	×	×
	公開プロキシ	×	×	×	×
出会い	出会い・異性紹介	×	×	×	×
	結婚紹介	×	×	×	○
金融	金融レート・投資アドバイス	○	○	○	○
	投資商品の購入	×	×	×	○
	保険商品の申込	×	×	○	○
	金融商品・サービス	○	○	○	○
ギャンブル	ギャンブル一般	×	×	×	○
	宝くじ・スポーツくじ	×	×	×	○
ゲーム	オンラインゲーム	×	×	○	○
	ゲーム一般	×	×	○	○
ショッピング	オークション	×	×	×	○
	通信販売一般	×	×	×	○
	不動産販売・賃貸	○	○	○	○
	IT 関連ショッピング	×	×	×	○
コミュニケーション	ウェブチャット	×	○	○	○
	メッセンジャー	○	○	○	○
	ウェブメール	○	○	○	○
	メールマガジン・ML	×	○	○	○
	掲示板	×	×	×	○
	IT 掲示板	×	○	○	○

大カテゴリ	サブカテゴリ	小学生以下	中学生	高校生	大人
ダウンロード	ダウンロード	×	○	○	○
	プログラムダウンロード	×	○	○	○
	ストレージサービス	×	○	○	○
職探し	転職・就職	○	○	○	○
	キャリアアップ	○	○	○	○
	サイドビジネス	○	○	○	○
グロテスク	グロテスク	×	×	×	×
話題	イベント	○	○	○	○
	話題	○	○	○	○
成人嗜好	娯楽誌	×	×	×	○
	喫煙	×	×	×	○
	飲酒	×	×	×	○
	アルコール製品	×	×	×	○
	水着・下着・フェチ画像	×	×	×	○
	文章による性的表現	×	×	×	○
	コスプレ	×	×	×	○
オカルト	オカルト	×	×	×	×
ライフスタイル	同性愛	×	×	×	○
スポーツ	プロスポーツ	○	○	○	○
	スポーツ一般	○	○	○	○
	レジャー	○	○	○	○
旅行	観光情報・旅行商品	○	○	○	○
	公的機関による観光情報	○	○	○	○
	公共交通	○	○	○	○
	宿泊施設	○	○	○	○
趣味	音楽	○	○	○	○
	占い	○	○	○	○
	タレント・芸能人	○	○	○	○
	食事・グルメ	○	○	○	○
	娯楽一般	○	○	○	○
宗教	伝統的な宗教	×	○	○	○
	宗教一般	×	○	○	○
政治活動・政党	政治活動・政党	×	○	○	○
広告	広告・バナー	×	×	○	○
	懸賞	×	×	○	○
ニュース	ニュース一覧	○	○	○	○

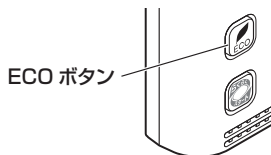
ECO モードにする

ECO モードでは、一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。
ECO モードに設定するには、本商品側面の ECO ボタンを使用します。

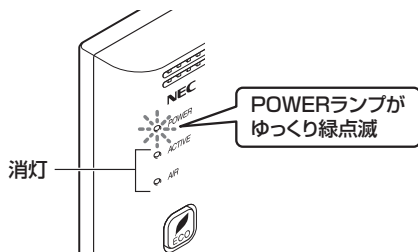
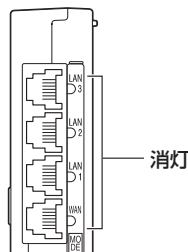
・無線 LAN 通信が停止される。
・ETHERNET ポートの通信速度が低速（10Mbps）で動作する。
（ブロードバンド接続ポートの通信速度は変わりません。）
・POWER ランプ以外の側面・背面のランプが消灯する。

ECO モードを起動する

ECO モードを起動するには、本商品側面の ECO ボタンを 5 秒以上押します。
（停止する場合は、再度、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。通常モードに戻ります。）

!

誤ってらくらくスタートボタンを押さないようご注意ください。
らくらくスタートボタンを押すと、らくらく無線スタートが起動してしまい、POWER ランプが緑点滅したあと 10 秒間赤点灯します。その後 POWER ランプが緑点灯に戻ったら、ECO モードを正しく起動してください。

ECO モード起動中のランプ状態

ECO モードでは、本商品側面の POWER ランプがゆっくり緑点滅し、他のランプはすべて消灯します。（背面の WAN ランプ、LAN ランプも消灯します。）

お知らせ

●ECO モードを起動すると、ETHERNET ポートの通信速度が変わるため、リンクが一時的に切断されます。通信中の場合はご注意ください。

●ECO ボタンは、工場出荷時で有効（ECO モードに設定できる状態）になっています。ECO ボタンを無効にする場合は、クイック設定 Web で設定してください。
詳しくは「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。

●あらかじめ起動／停止時刻を設定すれば、自動的に ECO モードを起動／停止することができます。（ただし、無線 LAN アクセスポイントモードでご利用の場合は、起動／停止時刻の設定はできません。）設定は、下記の手順で行います。詳細は、「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。

※ 設定の際は、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「時刻設定」で「自動時刻設定機能」を「自動設定」（初期値）に設定して、インターネットに接続可能な環境でご利用ください。

①クイック設定Webを起動して(☛P55)、[ECOモード設定]－[ECOモード設定]を選択する
②[ECO機能]の「使用する」にチェックを入れる
③[タイマ動作]の「使用する」にチェックを入れる
④ECOモードの起動／停止時刻を設定する
（画面は、午前2時から午前5時までECOモードにする場合の例です）
⑤[設定]をクリックする
⑥[保存]をクリックする

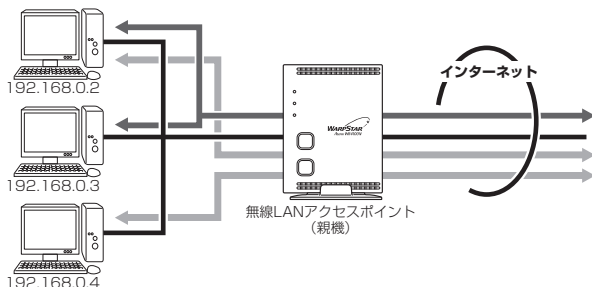
●らくらく無線スタート設定時に誤って ECO ボタンを押してしまうと、ECO モードが起動し、無線 LAN 通信が利用できなくなってしまいますのでご注意ください。（ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。）その場合は、再度 ECO ボタンを 5 秒以上押して、ECO モードを停止させてください。（本商品の電源をいったん切って入れ直しても通常モードに戻すことができます。）

便利な機能

複数の接続先に接続する設定（PPPoE マルチセッション）

PPPoE マルチセッションとは、1 つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行う機能です。

接続先の登録数は最大 5 箇所、同時接続可能セッション数は最大 5 箇所です。

本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認のうえ、ご使用ください。

接続先は、「優先する接続先（優先接続）」1 箇所とその他の接続先として 4 箇所までを設定できます。（例：一般的なフレッツ契約では 1 回線につき 2 セッションまで許容されています。）
また、優先する接続先以外の接続先には、それぞれの「DNS ルーティング設定」で、LAN 側から WAN 側へのパケット振り分けルールを設定します。
LAN 側から WAN 側へのパケットのうち、「DNS ルーティング設定」で設定した条件と一致するパケットおよびその応答パケットは、条件の一致した「その他の接続先」のアカウントを使って接続します。
「DNS ルーティング設定」で設定した条件と一致しなかったパケットおよびその応答パケットは、「優先接続」に指定されている接続先のアカウントを使って接続します。
設定方法については「機能詳細ガイド」を参照してください。

お知らせ

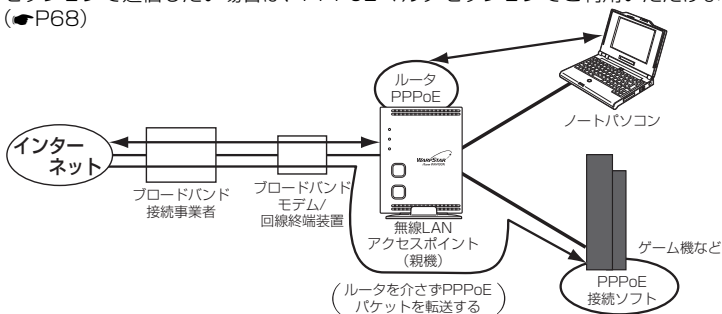
－制限事項－

● PPPoE マルチセッションで本商品の UPnP 機能をご利用になる場合は、UPnP 機能をご利用になる接続先を「優先接続」に指定してください。
UPnP 機能をご利用になる接続先が「優先接続」に指定されていない場合は、正常に通信できなくなることがあります。
※本商品の初期状態では、[接続先 1] が UPnP 機能の優先接続先になっています。

PPPoE ブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE（PPP over Ethernet）プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoE ブリッジ機能を使用して、接続できます。

無線 LAN アクセスポイント(親機)が PPPoE モードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 16 台までです。PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なります。接続事業者にご確認ください。

※ PPPoE プロトコルの利用やグローバル IP アドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoE マルチセッションでご利用いただけます。(☛P68)

■ PPPoE ブリッジ機能でできること

（1）次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

〈利用確認アプリケーション〉

- Windows Vista® の場合
  - リモート デスクトップ
  - Windows リモート アシスタンス
  - Windows ミーティング スペース
- Windows® XP の場合
  - リモート デスクトップ
  - リモート アシスタンス
- Windows® 7 の場合
  - リモート デスクトップ
  - Windows リモートアシスタンス
  - Windows ミーティング スペース（Windows Live からの無償ダウンロード）

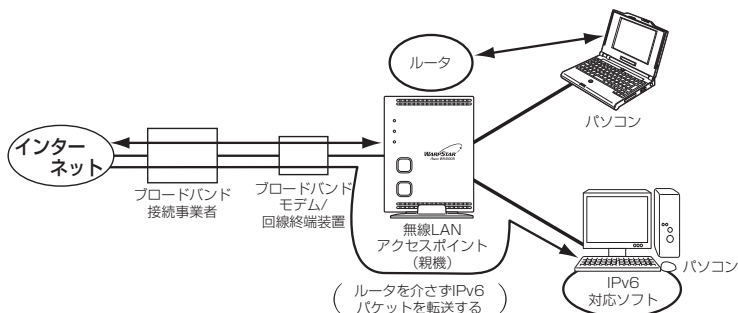
（2）PPPoE 対応のゲーム機（「プレイステーション 2」など）を接続できます。

（3）PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続しているブロードバンドモデム／回線終端装置と PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

お願い

- アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「PPPoE ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

IPv6 ブリッジ機能

IPv6（Internet Protocol Version 6）プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合、本商品は IPv6 ブリッジ機能の初期値が「使用する」になっていますので、パソコン側の設定をすることでご利用になれます。IPv6 ブリッジ機能を使用する際、セキュリティの低下を防ぎたい場合には、「機能詳細ガイド」を参照して設定変更してください。

ブロードバンドテレビサービスを無線でご利用になりたい場合

IPv6 マルチキャストストリーミングサービスを無線でご利用になる場合には、マルチキャスト帯域拡張機能を使用して、マルチキャストの速度を変更してご利用ください。

例：6Mbps のテレビサービスをご利用の場合は、8.4Mbps 以上の設定を行ってください。（設定は 12Mbps になります。）

- テレビサービスをご利用になる場合、ご利用環境によっては視聴できない場合があります。
- 無線 LAN 端末（子機）は、プライマリ SSID でご利用ください。その場合セカンダリ SSID の IPv6 マルチキャストを「ストリーミングのみ転送しない」に設定してください。

お知らせ

- ブロードバンド映像配信の一部のサービスは、無線で利用できない場合があります。
  セットトップボックスは本商品の ETHERNET ポートに有線で接続してご利用ください。

お願い

- パソコン側の設定方法は、お使いのプロバイダのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「IPv6 ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。
  セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

DMZ ホスト機能

外部からのアクセスを LAN 上のあらかじめ指定したパソコンに自動的にすべて転送する機能です。Web ／ FTP サーバの外部公開や LAN 上へファイアウォールを設定することができます。（☛ 機能詳細ガイド）

VPN パススルー機能

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN（Virtual Private Network：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。
本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。

IP パケットフィルタリング

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。
不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。
（☛ Ⓦ機能詳細ガイド）

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。
（☛ Ⓦ機能詳細ガイド）

UPnP 機能

本商品とパソコンの UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を利用して、TV 電話をするなど、パソコンの Windows Live Messenger、Windows Messenger、MSN Messenger の機能をご利用になることができます。
本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。

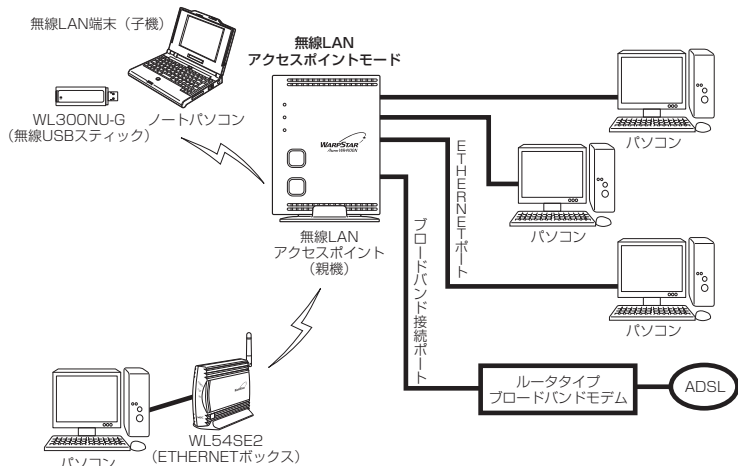
お知らせ

- UPnP 機能は、Windows Vista®、Windows® 7/XP のパソコンでのみご利用になれます。
- フレッツ・ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジ機能を使用することで、1 台のパソコンのみで利用ができます。
- ルータタイプの ADSL モデムにローカルルータモードで接続している時は、UPnP の機能はご利用になれません。ADSL モデムを PPPoE ブリッジモードに切り替えて本商品の動作モードを PPPoE ルータモードに設定するか、無線 LAN アクセスポイントモードに設定してお使いください。

無線 LAN アクセスポイントモードで使う（ルータ機能を停止する）

本商品を無線 LAN アクセスポイントモードにすると、ルータ機能が停止します。

既存の LAN やルータタイプのブロードバンドモデムに接続することで、有線接続のパソコンや、無線接続のパソコンを増設できます。

※本商品を無線 LAN アクセスポイントモードでご利用の場合は、本商品の ACTIVE ランプが橙点灯します。

 お知らせ

●ルータタイプのブロードバンドモデムと接続する際、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて無線 LAN アクセスポイントモードをご利用ください。

・本商品の持つルータ機能を使用しないとき

・ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

無線 LAN アクセスポイントモード設定

無線 LAN アクセスポイントモードの設定は、ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチか、らくらく Web ウィザードで行います。

●らくらく Web ウィザードで設定する場合（☛P74）
●ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチで設定する場合（☛P76）

❗ 無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意

- 無線 LAN アクセスポイントモードで、らくらく無線スタートを行う場合は、必ず、ブロードバンドモデムなど DHCP サーバ機能を持った機器を本商品に接続した状態で行ってください。
- 無線 LAN アクセスポイントモードで、クイック設定 Web を開く場合は、「http://web.setup/」およびデスクトップの［クイック設定 Web］アイコンから開くことはできません。
  → 無線 LAN アクセスポイントモードでのクイック設定 Web の起動のしかたは P56 を参照してください。

らくらく Web ウィザードで設定する

※ らくらく Web ウィザードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）をはじめて設定する場合のみ表示されます。無線 LAN アクセスポイント（親機）をすでにルータとしてお使いの場合は一度初期化してから設定を行ってください。(☛P134)
（初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。）

1 パソコンを起動する

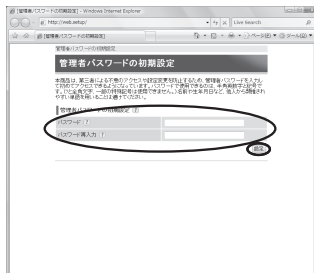
2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）

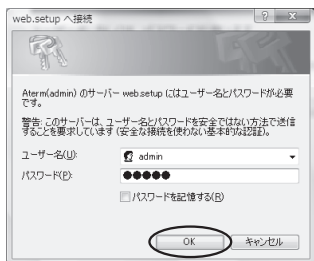
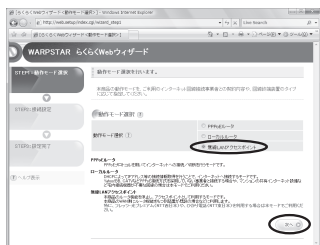
3 管理者パスワードの初期設定を行う

画面にしたがってパスワードを設定してください。

この画面は、管理者パスワードが未設定のときに開きます。

- 管理者パスワードは、無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定を最初からやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	

4 ［設定］をクリックする

5 次の画面が表示されたらユーザー名に「admin」、パスワードに手順 3 で設定した管理者パスワードを入力し［OK］をクリックする

6 「動作モード選択」で「無線 LAN アクセスポイント」を選択し、［次へ］をクリックする

7 「IP アドレス／ネットマスク」の「IP アドレス自動補正機能」の［使用する］にチェックを入れる

※フレッツ・光プレミアムに接続する際の設定例は、画面の〈参考〉をご確認ください。

8 ［設定］をクリックする

9 クイック設定 Web のページを閉じる

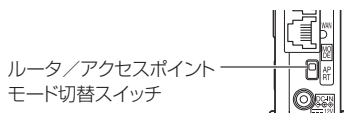
※あとからクイック設定 Web のページを開くには、「クイック設定 Web の起動のしかた（無線 LAN アクセスポイントモードの場合）」（☛P56）を参照してください。

「ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する」（☛P77）に進みます。

ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチで設定する

無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ／アクセスポイントモード切替スイッチを使って設定します。

1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切る

2 ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをアクセスポイント（AP）側に切り替える

3 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れる

POWER ランプが緑点灯し、ACTIVE ランプが橙点灯すると、設定が完了します。

「ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する」（☛P77）に進みます。

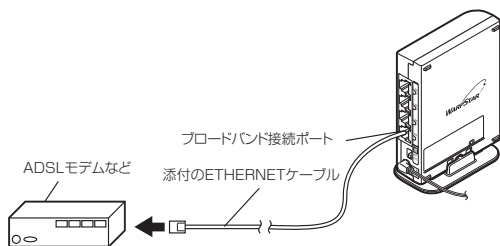
 お知らせ

●この方法で設定したあとに、ルータモードに変更する（ルータ機能を使用する）場合は、必ずルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをルータ（RT）側に切り替えたあとで無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化し（☛P134）、本商品の設定をはじめから行ってください。（☛「つなぎかたガイド」）

ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

必要があれば無線 LAN アクセスポイント（親機）とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

1 無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面にあるブロードバンド接続ポートとルータタイプの ADSL モデムなどを ETHERNET ケーブルで接続する

ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

2 ADSL モデムなどの電源を入れる

3 無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面の WAN ランプが緑点灯（または緑点滅）することを確認する

WAN ランプが緑点灯（または緑点滅）すれば、ADSL モデムは正しく接続されています。
※IP アドレスは、自動的に本商品の属しているネットワークに追従するように補正されます。補正後の IP アドレスは、ネットワークのアドレスが「192.168.1.xxx」の場合、「192.168.1.211」となります。
※サブネットマスクは補正されません。（255.255.255.0 固定）

お知らせ

- らくらく Web ウィザードで設定した場合、無線の設定を変更するときは、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 設定」でネットワーク名（SSID）、暗号化などを変更します。
  ※クイック設定 Web を開く場合は、「クイック設定 Web の起動のしかた（無線 LAN アクセスポイントモードの場合）」（☛P56）を参照してください。
- ブロードバンドモデムをパソコンや他のブロードバンドモデムに接続していた場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切ってください。なお 20 分～ 24 時間待って電源を入れないと、正常に動作しない場合があります。

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WR4100N（親機）に新しい機能を追加したり、場合によっては、WR4100N（親機）の操作を改善します。
［用語］ファームウェア：本商品を動かすために組み込まれているソフトウェアのことです。

お願い

●ファームウェアのバージョンアップ中（約 1 分間）は絶対に WR4100N（親機）の電源を切らないでください。
●ファームウェアをバージョンアップするときは、そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
●お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
●バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、AtermStation に新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のトップ画面に［ファームウェア更新］のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

※ 本機能は、ルータ機能を利用している場合のみご利用になれます。
※ 本機能は、常に本商品の電源が ON になっており、かつインターネットに接続されている必要があります。
　また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。
本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。
詳しくは、AtermStation（http://121ware.com/aterm/）をご覧ください。

お知らせ

●ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、インターネット上のホームページを開く際に、バージョンアップ情報が自動的に告知されますので、画面の指示にしたがって、本商品のバージョンアップを行うことができます。（ただし、自動告知画面が表示されるのは、開こうとするホームページのＵＲＬがホスト名の場合のみです。）
表示される例　　：http://www.biglobe.ne.jp/
表示されない例　：http://www.biglobe.ne.jp/xxx_xxx

自動更新（オンラインバージョンアップ）

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。本商品からインターネットに接続できる必要があります。

※ 本機能は、ルータ機能を利用している場合のみご利用になれます。

1 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

2 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

3 「メンテナンス」の［ファームウェア更新］を選択する

4 ［自動更新（オンラインバージョンアップ)］を選択する

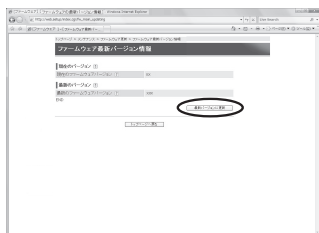
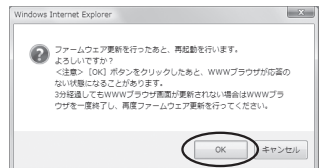
5 ［更新］をクリックする

6 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ

本商品の電源は、絶対に切らないでください。
→ AC アダプタは取り外さないでください。

（次ページに続く）

7 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、［最新バージョンに更新］をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。［閉じる］をクリックして、クイック設定 Web を閉じます。

8 ［OK］をクリックする

9 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。1 分ほどお待ちください」と表示される

!

本商品の電源は、絶対に切らないでください。
→ AC アダプタは取り外さないでください。

10 ［OK］をクリックする

ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページ AtermStation から、ユーティリティやファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。

1. **AtermStation（http://121ware.com/aterm/）にアクセスする**
2. **［ダウンロード］－［ソフトウェア］にて、お使いの機種を選択する**
3. **内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする**
4. **ユーティリティのバージョンアップの場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックする**

   インストールが始まります。

   詳細は、各ユーティリティのセットアップのページや AtermStation の説明をお読みください。

Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する

無線 LAN 内蔵パソコンが Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワーク接続」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワーク接続」は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP（64bit、128bit、152bit※1）」、「TKIP※2」、「AES※2」の場合に、ご利用いただけます。

※1：WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack 1～3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista® および Windows® 7 ではご利用いただけません。

※2：TKIP、AES は、Windows Vista® または Windows® 7/XP（Service Pack 2 または 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

「ワイヤレスネットワーク接続」は、次の手順で設定します。

①設定する

- **Windows Vista® の場合（☛P83）**
- **Windows® 7 の場合（☛P89）**
- **Windows® XP（Service Pack 2 または 3）の場合（☛P96）**
- **Windows® XP（Service Pack 1）の場合（☛P100）**

②無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認する（☛P104）

Windows® XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合

Windows® XP の「ワイヤレスネットワーク接続」は無効に設定されます。
Windows® XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」を「有効」に設定し、無線 LAN 端末（子機）を接続し直す必要があります。

① サテライトマネージャを起動する
② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
③「詳細設定」タブをクリックする
④「Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す

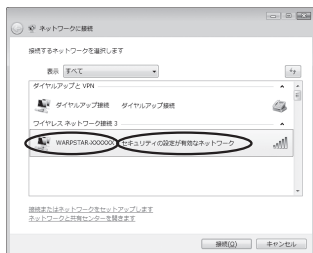
⑤「はい」をクリックする
⑥ 無線 LAN 端末（子機）を取り外し、接続し直す

Windows Vista® の場合

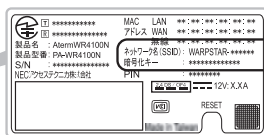
ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合
　→<u><無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合></u>（☛P84）へ

・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合
　→<u><無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合></u>（☛P85）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。
　→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID)」の末尾に「-W」がついたものです。）

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［接続またはネットワークをセットアップします］をクリックして「手動で設定する場合」（☛P86）の手順 2 へ進みます。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

3 ［接続］をクリックする

※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

③［OK］をクリックする

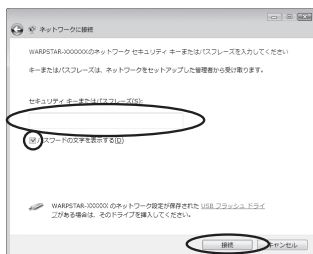
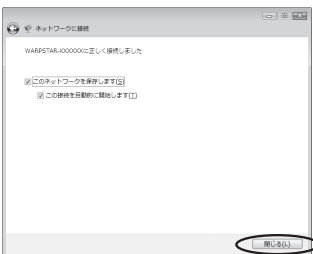
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順 1（☛P83）から接続し直してください。

4 ［セキュリティキーまたはパスフレーズ］に暗号化キーを入力して、［接続］をクリックする

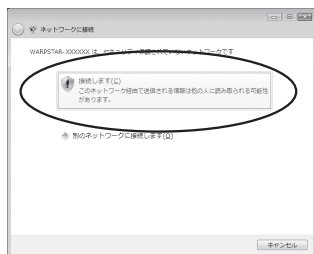
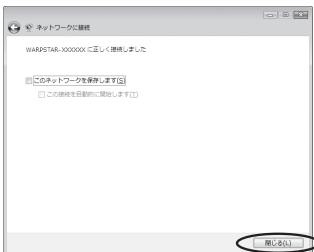
※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P83）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の 2 ～ 4 番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P86）へ進みます。

5 ［閉じる］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合＞

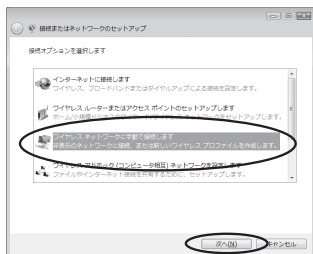
3 ［接続］をクリックする

4 ［接続します］をクリックする

5 ［閉じる］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

●手動で設定する場合

1 **[スタート]（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする**

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

2 **[ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、[次へ］をクリックする**

3 **表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う**

※工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。(☛P83)

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①［ネットワーク名］で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②［セキュリティの種類］で［WPA- パーソナル］または［WPA2- パーソナル］を選択する

③［暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する

④［セキュリティキーまたはパスフレーズ］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

※［パスフレーズ文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

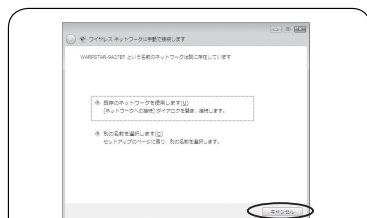
⑤［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

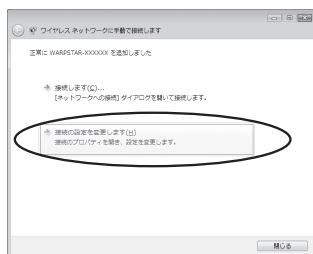
⑥［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

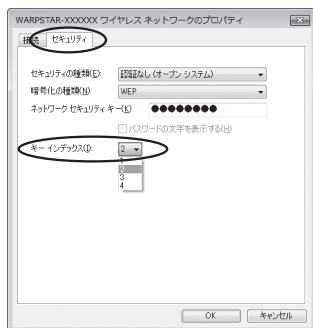
⑦［次へ］をクリックする

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線 LAN アクセスポイント(親機)のネットワーク名(SSID)を入力する
②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する
③[セキュリティキーまたはパスフレーズ]に無線 LAN アクセスポイント(親機)の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ ASCII 文字の場合：
　英数字 5 文字：
　無線 LAN アクセスポイント(親機)に 64bitWEP を設定している場合
　英数字 13 文字：
　無線 LAN アクセスポイント(親機)に 128bitWEP を設定している場合
・ 16 進数の場合：
　0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：
　無線 LAN アクセスポイント(親機)に 64bitWEP を設定している場合
　0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：
　無線 LAN アクセスポイント(親機)に 128bitWEP を設定している場合
④[この接続を自動的に開始します]のチェックを外す
⑤[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックを入れる

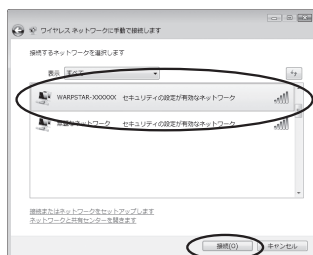
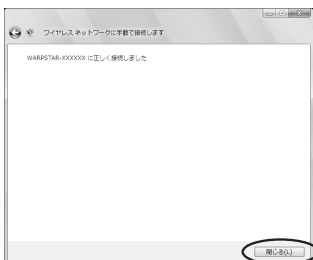
4 [接続の設定を変更します]をクリックする

上の画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。
①[ネットワークと共有センター]−[ワイヤレスネットワークの管理]をクリックする
②接続するネットワーク名(SSID)を選択して右クリックし、[ネットワークの削除]をクリックする
③「OK」をクリックする
④[ワイヤレスネットワークの管理]の画面を閉じる
上記の手順が完了したら、P86 の手順 1 から接続し直してください。

(次ページに続く)

5 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

6 ［OK］をクリックする

7 ［接続します］をクリックする

8 無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする

9 ［閉じる］をクリックする

以上で無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定は完了です。

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

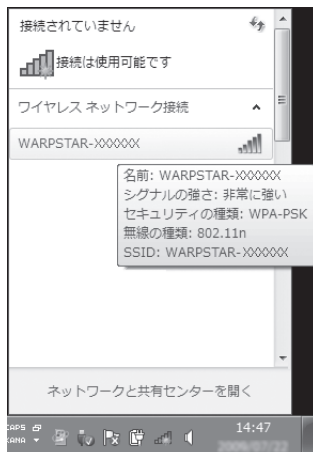
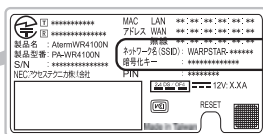
Windows® 7 の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

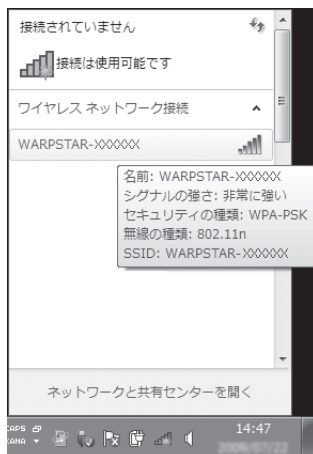
1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

※［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

- セキュリティが設定されている場合（「WEP」、「WPA」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」など）
  →<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>（☛P90）へ
- 「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合
  →<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>（☛P91）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。
→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたものです。）

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックして「手動で設定する場合」（☛P92）の手順 2 へ進みます。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

3 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする

4 ［接続］をクリックする

※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

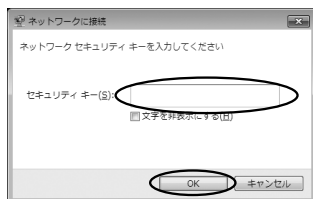
③［はい］をクリックする

④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

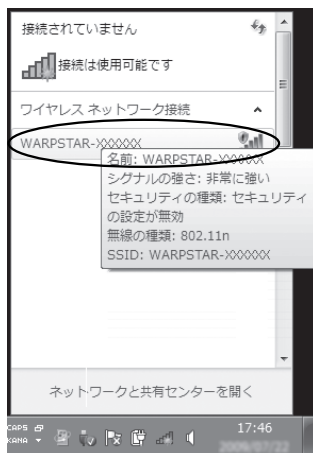
上記の手順が完了したら、手順 1（☛P89）から接続し直してください。

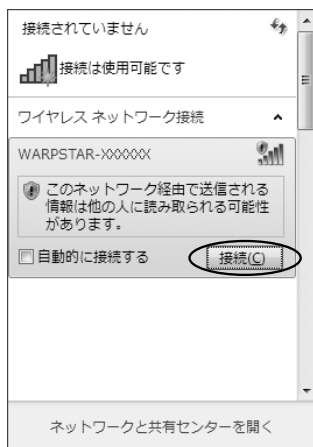
5 ［セキュリティ キー］に暗号化キーを入力して、［OK］をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P89）
なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の２～４番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P92）へ進みます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>

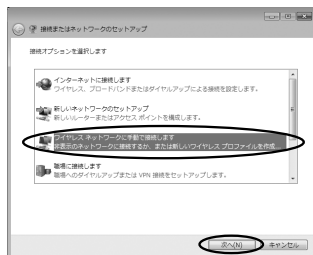
3 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックする

（次ページに続く）

4 ［接続］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

●手動で設定する場合

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする

※［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

2 ［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、［次へ］をクリックする

3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P89）

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①［ネットワーク名］で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②［セキュリティの種類］で［WPA- パーソナル］または［WPA2- パーソナル］を選択する

③［暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する

④［セキュリティ キー］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する

※暗号化キーは半角で、8 〜 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8 〜 63 桁の場合】英数記号（0 〜 9、a 〜 z、A 〜 Z、下記の記号）

!	%	)	-	;	@	^	|
”	&	*	.	<	[	_	}
#	’	+	/	=	\	`	˜
$	(	,	:	>	]	{	

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 〜 9、a 〜 f、A 〜 F）

⑤［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

⑥無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

⑦［次へ］をクリックする

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①［ネットワーク名］で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する

②［セキュリティの種類］で［WEP］を選択する

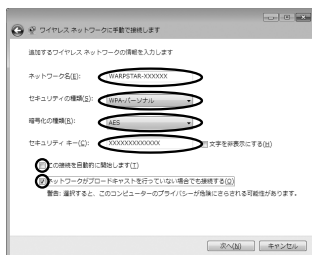
③［セキュリティ キー］に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

・16 進数の場合：
0 〜 9・A 〜 F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
0 〜 9・A 〜 F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

④［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す

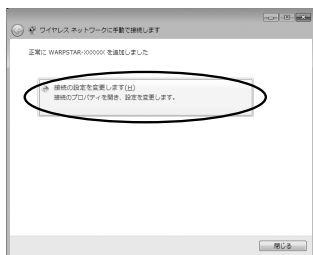
⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる

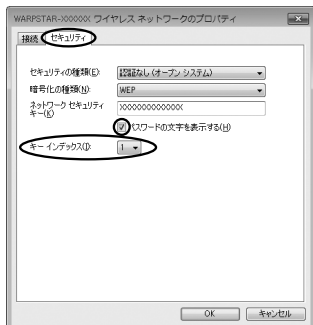
⑥［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

4 ［接続の設定を変更します］をクリックする

上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
②接続するネットワーク名（SSID）をクリックして右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③［はい］をクリックする
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P92 の手順 1 から接続し直してください。

5 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

6 ［OK］をクリックする

7 ［閉じる］をクリックする

8 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、無線LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする

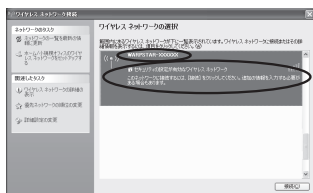
以上で無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定は完了です。

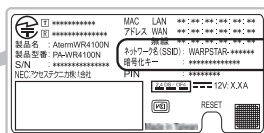
無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

Windows® XP（Service Pack 2 または 3）の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit、152bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。
なお下記は、Windows® XP（Service Pack 3）の画面を例に説明しています。

1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

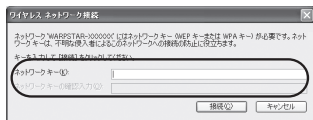
2 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

・「セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
→<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>（☛P97）へ
・「セキュリティで保護されていないネットワーク」と表示されている場合
→<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>（☛P97）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。
→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID)」の末尾に「-W」がついたものです。）

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、[詳細設定の変更］をクリックして、「手動で設定する場合」の手順 3（☛P98）へ進みます。
それでも接続できない場合には、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除するか、無線 LAN 端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

3 ［接続］をクリックする

4 ［ネットワークキー］に暗号化キーを入力して［接続］をクリックする

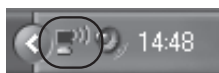
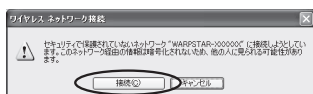
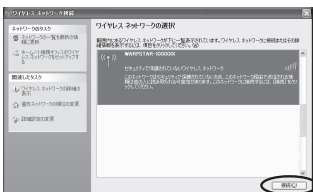
※工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P96）
※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の２～４番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛下記）へ進みます。

5 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合＞

3 ［接続］をクリックする

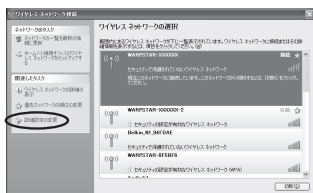
4 次の画面が表示された場合は、［接続］をクリックする

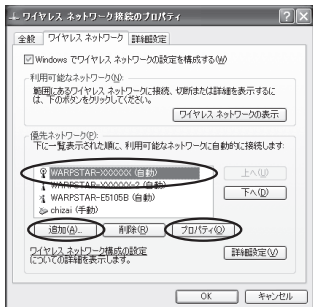
5 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

●手動で設定する場合

1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

（次ページに続く）

2 ［詳細設定の変更］をクリックする

3 ［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックして、［プロパティ］をクリックする

※ネットワーク名（SSID）が表示されていない場合は、［追加］をクリックする

4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。(☛P96)

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①［ネットワーク認証］で［WPA-PSK］または［WPA2-PSK］を選択する

※［WPA2-PSK］は、「WPA2-PSK」に対応した無線 LAN 端末（子機）でのみ選択できます。

②［データの暗号化］で［TKIP］または［AES］を選択する

※画面は、暗号化モードで WEP を使用するの場合の例です。

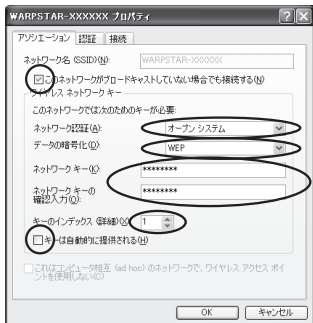
③［ネットワークキー］を入力し、同じものを［ネットワークキーの確認入力］に再入力する
暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。（半角で入力します。）

【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

④[このネットワークがブロードキャストをしていない場合でも接続する]のチェックを入れる
※Windows® XP(Service Pack 2)でこのチェックボックスがない場合は、無線 LAN アクセスポイント(親機)で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を解除してください。
⑤[OK]をクリックする

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する
②[データの暗号化]で[WEP]を選択する
③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII 文字の場合:
英数字 5 文字:
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字:
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 128bitWEP を設定している場合
英数字 16 文字:
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 152bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合:
0 〜 9・A 〜 F で 10 文字:
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 64bitWEP を設定している場合
0 〜 9・A 〜 F で 26 文字:
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 128bitWEP を設定している場合
0 〜 9・A 〜 F で 32 文字:
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 152bitWEP を設定している場合
⑤無線 LAN アクセスポイント(親機)の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する
⑥[このネットワークがブロードキャストをしていない場合でも接続する]のチェックを入れる
※Windows® XP(Service Pack 2)でこのチェックボックスがない場合は、無線 LAN アクセスポイント(親機)で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を解除してください。
⑦[OK]をクリックする

5 [OK]をクリックする

無線 LAN アクセスポイント(親機)との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント(親機)との通信状態を確認するには」(☛P104)で確認してください。

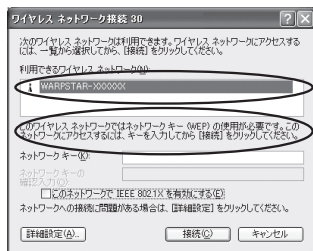
Windows® XP（Service Pack 1）の場合

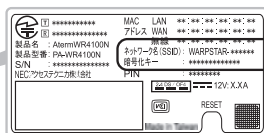
ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit、152bit）です。（TKIP、AES はご利用になれません。）
なお、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）※が設定される場合は、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

※ ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）は、本商品独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末（子機）では、接続できない場合があります。

無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

2 接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

- 「このワイヤレス ネットワークではネットワークキー（WEP）の使用が必要です。」と表示されている場合
  →<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合>（☛P101）へ
- 「⚠ このワイヤレス ネットワークはセキュリティで保護されていません。」と表示されている場合
  →<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>（☛P102）へ

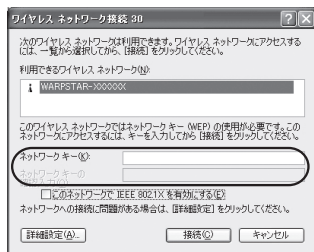
※Windows® XP（Service Pack1）は、WEP にのみ対応しておりますので、ネットワーク名（SSID）はセカンダリ SSID＊を選択してください。
　＊工場出荷時のセカンダリ SSID は、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面に記載されているネットワーク名（SSID）の末尾に「-W」がついたものです。（暗号化方式は 128bitWEP です。）

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［詳細設定］をクリックして「手動で設定する場合」の手順 3（☛P103）へ進みます。
それでも接続できない場合には、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

＜無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されている場合＞

3 ［ネットワークキー］に暗号化キーを入力して［接続］をクリックする

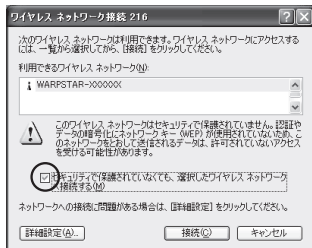
※［このネットワークで IEEE802.11x を有効にする］のチェック（□）は必ず外してください。

※工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P100）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の 2 ～ 4 番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P102）へ進みます。

4 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

<無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化が設定されていない場合>

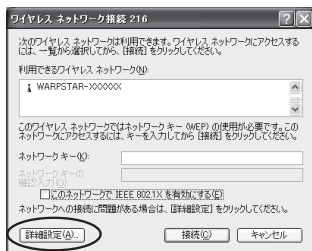
3 [セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレス ネットワークへ接続する] にチェックを入れる

4 [接続] をクリックする

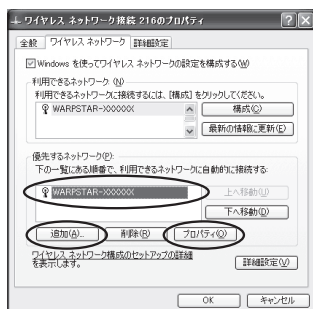
5 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

●手動で設定する場合

1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

2 [詳細設定] をクリックする

3 ［ワイヤレス ネットワーク］タブをクリックし、接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックして、［プロパティ］をクリックする

※ネットワーク名（SSID）が表示されていない場合は、［追加］をクリックする

4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを入力してください。（☛P100）

①［データの暗号化］にチェックする

（画面に［ネットワークアソシエーション］・［データの暗号化］の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する）

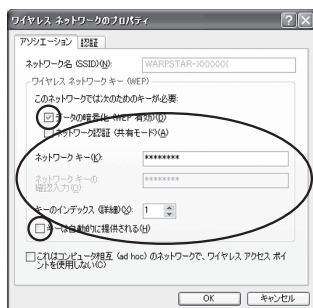
②［キーは自動的に提供される］のチェックを外す

③［ネットワークキー］を入力し、同じものを［ネットワークキーの確認入力］に再入力する

ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

- ASCII 文字の場合：
  英数字 5 文字：
  無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
  英数字 13 文字：
  無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
  英数字 16 文字：
  無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合
- 16 進数の場合：
  0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：
  無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
  0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：
  無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
  0 ～ 9・A ～ F で 32 文字：
  無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

④無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

⑤［OK］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態は、「無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには」（☛P104）で確認してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1 [スタート]（Windows® ロゴボタン）－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワーク］をクリックする方法もあります。

※Windows® 7の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共有センターを開く］をクリックします。

※Windows® XP の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

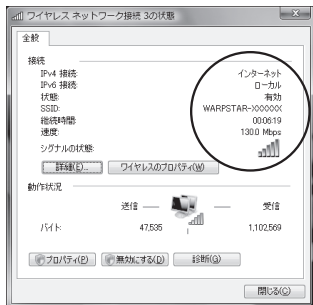
2 [状態の表示］をクリックする

※Windows® 7の場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」をクリックします。

※Windows® XP の場合は、[状態] をクリックし、［全般］タブをクリックします。

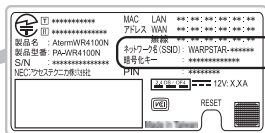
3 無線設定が正しく行われていることを確認する

・［状態］が「有効」になっていること（Windows® XP の場合は、[接続］になっていること）

・［速度］が表示されていること（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。）

※画面は Windows Vista® の場合の例です。

4 [閉じる］をクリックする

無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する

本商品に無線 LAN 内蔵のゲーム機を接続することができます。
無線 LAN アクセスポイント（親機）側面に記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。

- ゲーム機側に、ネットワーク名（SSID）および暗号化方式、暗号化キーの設定が必要です。
- ニンテンドー DS(ニンテンドー DS Lite 含む)は WEP にのみ対応しておりますので、ネットワーク名（SSID）は、セカンダリ SSID※を選択してください。暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面に記載されている暗号化キーを設定してください。
  ※セカンダリ SSID は、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面に記載されているネットワーク名（SSID）の末尾に「-W」がついたものです。（暗号化方式は 128bitWEP です。）
  なお、ニンテンドー DSi の場合は、AES、TKIP の暗号化方式で接続できる場合があります。詳しくはゲーム機の取扱説明書をご参照ください。
- らくらく無線スタートで設定することもできます。設定可能なゲーム機については、ホームページ AtermStation ー「サポートデスク」（http://121ware.com/product/atermstation/websupport/index.html）をご確認ください。

＜無線接続できるゲーム機＞
・Wii
・ニンテンドー DS（ニンテンドー DS Lite 含む）
・ニンテンドー DSi（ニンテンドー DSi LL 含む）
・「プレイステーション 3」
・PSP「プレイステーション・ポータブル」
・Xbox 360

お知らせ

- ゲーム機のブラウザでクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると※、クイック設定 Web は表示できません。（☛P22）その場合は、いったん有線で無線 LAN アクセスポイント（親機）とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度無線接続してください。
  ※ニンテンドー DS、らくらく無線スタートで設定した PSP の場合など。

WPS 機能を使用して無線設定する

無線 LAN アクセスポイント（親機）は、WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。
設定するには、無線 LAN 端末（子機）側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。

- **らくらくスタートボタンによる設定（☛ 下記）**
- **PIN 方式による設定**
  - →無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する場合（☛P107）
  - →無線 LAN 端末（子機）の無線 LAN 設定を無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定する場合（☛P109）

お知らせ

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」が「使用する」になっていると、WPS 機能での設定に失敗します。無線 LAN アクセスポイント（親機）側の設定を確認してください。
- WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。

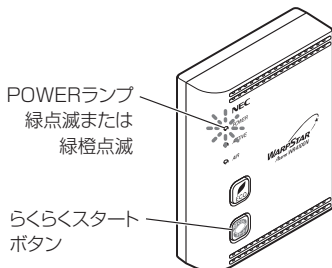
らくらくスタートボタンによる設定

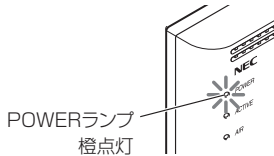
無線 LAN アクセスポイント（親機）側面にあるらくらくスタートボタンを押すことで、WPS 機能を起動させることができます。設定方法は下記の通りです。

※設定の際は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）は近くに置いた状態で設定してください。（目安：1m 程度）

1 無線 LAN 端末（子機）の WPS 機能を起動する

※起動方法は、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

2 無線 LAN アクセスポイント（親機）側面のらくらくスタートボタンを押し、側面の POWER ランプが緑点滅または緑橙点滅したら離す

3 **無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の POWER ランプが橙点灯することを確認する**

※POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。

失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点滅します。
再度手順 1 からやり直しても失敗する場合は、無線 LAN 端末（子機）の取扱説明書などを参照して、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）と暗号化キーを設定してください。
※ 無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面のラベルを参照してください。

PIN 方式による設定

無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する

PIN 方式を使って、無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を無線 LAN 端末（子機）に設定します。

※ ご利用になる無線 LAN 端末（子機）のドライバや設定ツールが必要な場合は、インストールを済ませておいてください。

お知らせ

● 無線 LAN アクセスポイント（親機）で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN 端末（子機）によっては WPS 機能で設定できません。無線 LAN アクセスポイント（親機）側の設定を確認してください。

（次ページに続く）

1 無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、いったん ETHERNET ケーブルでパソコンと無線 LAN アクセスポイント（親機）を接続する

※他のパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、手順2に進みます。

2 クイック設定 Web を起動する（☛P54）

3 「無線 LAN 設定」－「WPS 設定」を選択する

4 ［PIN 方式］の「使用する」にチェックする

5 ［WPS の状態］の［Configured］のチェックを入れる

6 ［無線 LAN 端末の PIN コード］に無線 LAN 端末（子機）の PIN コードを入力する

※無線 LAN 端末（子機）の PIN コードは、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などをご参照ください。

7 ［WPS（PIN 方式）］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の POWER ランプが緑橙点滅します。

9 **無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンで上記の設定をした場合は、パソコンから ETHERNET ケーブルを取り外して、10 秒待つ**

※他のパソコンで設定した場合は、手順 10 に進みます。

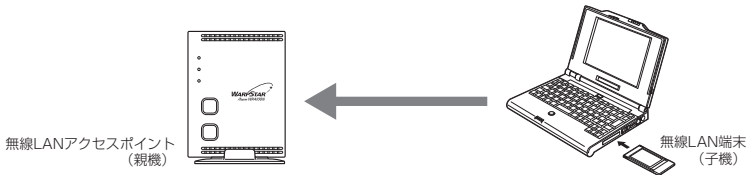
10 **無線 LAN 端末（子機）側で WPS 機能を起動する**

※起動方法については、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

※無線設定が完了すると、無線 LAN アクセスポイント（親機）の POWER ランプが橙点灯（約 10 秒間）します。

無線 LAN 端末（子機）の無線 LAN 設定を無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定する

PIN 方式を使って、無線 LAN 端末（子機）の設定を無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定します。
無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線 LAN 設定が変更になり、設定済みの他の無線 LAN 端末から接続できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

※ ご利用になる無線 LAN 端末（子機）のドライバや設定ツールが必要な場合は、インストールを済ませておいてください。

お知らせ

●無線 LAN アクセスポイント（親機）で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスが登録されていないと、WPS 機能での設定に失敗します。無線 LAN アクセスポイント（親機）側の設定を確認してください。

1 **無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、いったん ETHERNET ケーブルでパソコンと無線 LAN アクセスポイント（親機）を接続する**

※他のパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、手順２に進みます。

2 **クイック設定 Web を起動する（☛P54）**

3 **Windows® 7 の場合は、「無線 LAN 設定」－［無線 LAN 設定］を選択して、［対象ネットワークを選択］でプライマリ SSID を選択し、暗号化モードを［暗号化無効］に設定して、［設定］をクリックする**

※ Windows® 7 以外の場合は、手順４に進みます。

（次ページに続く）

4 「無線 LAN 設定」－「WPS 設定」を選択する

5 ［PIN 方式］の「使用する」にチェックする

6 ［WPS の状態］の［Configured］のチェックを外す

7 無線 LAN アクセスポイント（親機）の PIN コードを確認する

8 ［設定］をクリックし、［保存］をクリックする

9 無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンで上記の設定をした場合は、パソコンから ETHERNET ケーブルを取り外して、10 秒待つ

※他のパソコンで設定した場合は、手順 10 に進みます。

10 無線 LAN 端末（子機）側に無線 LAN アクセスポイント（親機）の PIN コードを入力し、WPS 機能を起動する

無線設定が開始されると、無線 LAN アクセスポイント（親機）の POWER ランプが緑橙点滅し、無線設定が完了すると、橙点灯（約 10 秒間）します。

※PIN コードの入力画面の表示方法および WPS の起動方法については、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

※Windows® 7 の無線 LAN 内蔵パソコンをご利用の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、接続するネットワーク名（SSID）をクリックして「自動的に接続する」のチェックを入れ、［接続］をクリックしたあと、無線 LAN アクセスポイント（親機）の PIN コードなどの情報を入力して、WPS 機能を起動してください。

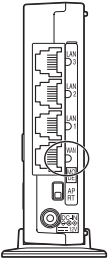
トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「機能詳細ガイド」（☛P2）の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化し（☛P134）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（機能詳細ガイド）

- ・設置に関するトラブル（☛ 下記）
- ・ユーティリティに関するトラブル（☛P123）
- ・ご利用開始後のトラブル（☛P129）
- ・添付の CD-ROM に関するトラブル（☛P131）

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

確認事項	
無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の POWER ランプは緑点灯していますか？※	→いいえ（a 参照 ☛P112）
↓はい	
無線 LAN アクセスポイント（親機）背面の WAN ランプは緑点灯していますか？※	→いいえ（b 参照 ☛P112）
↓はい	
無線 LAN 通信はできますか？（無線 LAN をご利用の場合）	→いいえ（c 参照 ☛P113）
↓はい	
らくらくネットスタートで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定が行えますか？	→いいえ（d 参照 ☛P114）
↓はい	
パソコンに IP アドレスが設定されていますか？ （確認方法は、P54 を参照してください）	→いいえ（e 参照 ☛P115）
↓はい	
無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定が行えますか？ WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示できますか？	→いいえ（f 参照 ☛P116）
↓はい	
＜ PPPoE モードの場合＞ 設定後、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の ACTIVE ランプが緑点灯していますか？※	→いいえ（g 参照 ☛P117）
＜ローカルルータモードの場合＞ ・設定後、無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の ACTIVE ランプが緑点灯していますか？※ ・WAN 側 IP アドレスが正しく表示されていますか？ （クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」の「WAN 側状態」に IP アドレスが表示されていますか？）	→いいえ（h 参照 ☛P118）
＜無線 LAN アクセスポイントモードの場合＞ ・無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の ACTIVE ランプが橙点灯していますか？※	→いいえ（i 参照 ☛P119）
↓はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ（j 参照 ☛P120）

※ ECO モード起動中は、POWER ランプは緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。（☛P66）

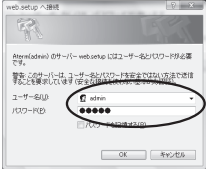
a. 無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の POWER ランプが緑点灯しない

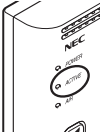
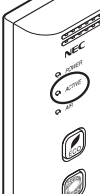
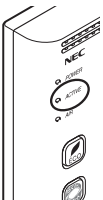
症　状	原因と対策
POWER ランプが緑点灯しない	電源が入っていません。 ● AC アダプタ（電源プラグ）が外れている → AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ● AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている → 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると無線 LAN アクセスポイント（親機）に供給されている電源も切れてしまいます。 ● AC アダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b. 無線 LAN アクセスポイント（親機）背面の WAN ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
WAN ランプが緑点灯しない	● ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていない → ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置に ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。 ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ● ECO モードを起動している → ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。 ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。 ● ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル（カテゴリー 5）」であることを確認してください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートと無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートを添付の ETHERNET ケーブルで接続してみる。 背面の WAN ランプが緑点灯する場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）は、問題ありません。 ブロードバンドモデム／回線終端装置の故障が考えられます。 緑点灯しない場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は無線 LAN アクセスポイント（親機）の故障が考えられます。別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。

c. 無線 LAN 通信ができない

症　状	原因と対策
無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	●ECO モードを起動している →ECO モード起動中は、無線LAN 通信が利用できません。(ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。) 無線 LAN 通信をご利用になる場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押して、ECO モードを停止してください。 ●暗号化キーの設定が無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）とで一致しているかを確認してください。（機能詳細ガイド） ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける （アドレス：192.168.0. ＊、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161） ②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ●「らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX に関する問題」（☛P124）も参照してください。 ●WL300NU-G（無線 USB スティック）から接続する場合は、ドライバが正しくインストールされていない場合があります。 次の手順でいったんドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professional の場合はドライバ）を削除してから、もう一度ドライバとユーティリティ（Windows® XP/ 2000 Professional の場合はドライバ）をインストールしてください。 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］－［ドライバとユーティリティの削除］（Windows® XP/2000 Professional の場合は［ドライバのアンインストール］）をクリックする ②画面の指示にしたがって、アンインストールを行う ●WL300NU-G（無線 USB スティック）から接続する場合は、「サテライトマネージャに関する問題」（☛P126）も参照してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、無線 LAN アクセスポイント（親機）や無線 LAN 端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。
セカンダリ SSID が見つからない	●IEEE802.11b に対応している無線 LAN 端末（子機）によっては、セカンダリ SSID をサーチできない場合があります。この場合、SSID を直接設定することにより、接続可能となります。 例）初期値の場合 プライマリ SSID：WARPSTAR-xxxxxx （本商品側面ラベルに記載のネットワーク名（SSID）） セカンダリ SSID：WARPSTAR-xxxxxx-W （本商品側面ラベルに記載のネットワーク名（SSID）の末尾に「-W」がついたもの）

d. らくらくネットスタートが失敗する

症　状	原因と対策
POWER ランプ、ACTIVE ランプ、AIR ランプが赤点滅している	●WAN 側回線の判別に失敗しています。 無線 LAN アクセスポイント（親機）から AC アダプタを抜き、10 秒以上たってから、再度無線 LAN アクセスポイント（親機）に AC アダプタを接続し、1 分待ちます。 「無線 LAN アクセスポイント（親機）を手動で設定するには」（☛P49）にしたがって設定してください。
POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが橙点滅している	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスが他の機器と競合しています。 「ｉ．無線 LAN アクセスポイントモードで ACTIVE ランプが橙点灯しない」（☛P119）を参照してください。
利用回線に不適切なモードが選択されている	●無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☛P135） 「無線 LAN アクセスポイント（親機）を手動で設定するには」（☛P49）にしたがって設定してください。

e. パソコンに IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.0.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線 LAN アクセスポイント（親機）の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、b の手順で再度パソコンのアドレスを確認する b. 次の手順で IP アドレスを取り直す 〈Windows Vista®/Windows® 7 の場合〉 ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) − [すべてのプログラム] − [アクセサリ] − [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ②ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックする ③「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」※になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） 〈Windows® XP/2000 Professional の場合〉 ① [スタート] − [すべてのプログラム]（または [プログラム]） − [アクセサリ] − [コマンドプロンプト] をクリックする ②「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ③「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ④IP アドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」※になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） 〈Mac OS X の場合〉 ①アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [表示] で [ネットワークポート設定] を選択し、[内蔵 Ethernet] のチェックを外して、[今すぐ適用] をクリックする。 ③ [内蔵 Ethernet] のチェックを入れて、[今すぐ適用] をクリックする。 ④ [表示] を [内蔵 Ethernet] にして、[TCP/IP] タブをクリックし、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっていることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） ※らくらくネットスタートで、ローカルルータモードを認識した場合、本商品が接続されているネットワークに応じて LAN 側の IP アドレスを変更します。 例） WAN 側ネットワークが 192.168.0.xxx の場合、LAN 側 IP アドレスを自動的に、192.168.1.1/24 に設定します。サブネットマスクは補正されません。(255.255.255.0 固定) ●無線 LAN をご利用の場合は、「c．無線 LAN 通信ができない」を参照して無線 LAN 通信を確立させてください。

f.WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

症　状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	●プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする ②［LAN にプロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 ・ 本商品の動作モードが PPPoE ルータモードのとき：「http://192.168.0.1」です。 ・ 本商品の動作モードがローカルルータモードのとき：「http://192.168.0.1」もしくは「http://192.168.1.1」です。 ・ 本商品の動作モードが無線LANアクセスポイントモードのとき：P56 参照 ・ IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ●無線 LAN アクセスポイントモードに設定されている →P56 参照 →ルータモードに変更してクイック設定 Web を開く場合は、P76 の「お知らせ」を参照してください。 ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(☛P31、35) ●無線接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると※、クイック設定 Web は表示できません。(☛P22）その場合は、いったん有線で無線 LAN アクセスポイント（親機）とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度無線接続してください。 ※ AES に対応していない無線 LAN 端末（子機）から無線接続する場合など。
WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される 	●WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 →ユーザー名には、「admin」を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web が開かない	●JavaScript が無効に設定されている →WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(☛P36) ●IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(☛P115)

g.PPPoE モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の ACTIVE ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ACTIVE ランプが緑点灯しない	●パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが緑点滅し、しばらくして緑点灯に変わります。
ACTIVE ランプが速い緑点滅をしている	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯します。LINE ランプまたは ADSL ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対処してください。 対処後、パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが緑点滅し、しばらくして緑点灯に変わります。
ACTIVE ランプが遅い緑点滅、速い緑点滅を繰り返している	●無線 LAN アクセスポイント（親機）に登録した接続ユーザー名、接続パスワードとプロバイダなどから送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ●接続ユーザー名、接続パスワードが間違っています。 クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」にて修正してください。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 接続パスワード：半角、全角、大文字、小文字 ※フレッツの場合は、@以降のドメインが必要です。 ※メールのユーザー名やドメイン、パスワードでは接続できません。 ●接続する環境によっては、正常接続時に時間がかかる場合があります。（数分程度）
ACTIVE ランプが消灯している	●ECO モードを起動している →ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。 ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。

h.WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

症　状	原因と対策
ACTIVE ランプが緑点灯しない （クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない）	●ブロードバンドモデム／回線終端装置が WAN 側に接続されていることを確認してください。 ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認してください。 ●接続事業者から指定された IP アドレス情報などが正しく設定されているか確認してください。 らくらく Web ウィザード クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」（機能詳細ガイド） ●ブロードバンドモデム／回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードが PPPoE ブリッジモードの場合は本商品の動作モードは PPPoE モードでご使用ください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20 ～ 30 分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。 ●CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてからドメイン名やホスト名を入力してください。 ●CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてからゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ●CATV 接続事業者によっては本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。 ●クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてから「IP アドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。
ACTIVE ランプが消灯している	●ECO モードを起動している →ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。 ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。

i. 無線 LAN アクセスポイントモードで ACTIVE ランプが橙点灯しない

症　状	原因と対策
無線 LAN アクセスポイントモードで、POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが橙点滅している	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスが他の機器と競合しています。その場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）から AC アダプタを抜き、10 秒以上たったら無線 LAN アクセスポイント（親機）に AC アダプタを接続して 1 分待ち、下記の対処を行ってください。 ①本商品が接続しているネットワークのアドレス体系を確認して（☛P132）、控えておく ［控え欄］ ②無線 LAN アクセスポイント（親機）を RESET スイッチで初期化 する（☛P135） ③「無線 LAN アクセスポイント（親機）を手動で設定するには」（☛P49）で、下記のように設定する。 ・「動作モード」：無線 LAN アクセスポイント ・「IP アドレス自動補正機能」：使用しない ・「IP アドレス」：①で確認したアドレス体系を使用し、最後の数字を「211」以外の値に変更して入力。 例：①で確認したアドレス体系が「192.168.1.3」の場合 →「192.168.1.***」と入力する（*** は「211 以外」の任意の値）
ACTIVE ランプが消灯している	●ECO モードを起動している →ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。 ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。

j. インターネットに接続できない

● ADSL/FTTH 接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	●WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 →LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください。(☛P35)
ルータタイプ ADSL モデムに接続している	●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続できません。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 取得］を選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 ［IP 取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面の WAN ランプが緑点灯しているか確認してください。 ●ルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。 ADSL モデムが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている場合があります。 →次の手順で、IP アドレスが同じであることを確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 ①IP アドレスを確認する WAN 側:クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」が空欄になっている ②IP アドレスを変更する クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を“192.168.1.1”など左から 3 つ目を変更して、［設定］をクリックする ③［保存］をクリックする ●無線 LAN アクセスポイント（親機）を無線 LAN アクセスポイントモードに設定して接続できるか確認してください。(☛P72) これでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。
PPPoE 接続できない	●ユーザー ID とパスワードが間違っている →プロバイダからのユーザー ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。 ※フレッツの場合は、@以降のドメインが必要です。 ※メールのユーザー名やドメイン、パスワードでは接続できません。 ●使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モードは正しいですか。 →ルータタイプの ADSL モデムに接続して使用する場合、PPPoE モードでは接続できません。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。

症　状	原因と対策
PPPoE 接続できない（続き）	●パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows Vista®/Windows® 7/XP の PPPoE 機能を使用していませんか。 →PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。 ●フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
PPPoE 接続に成功してもホームページが開けない	●IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている。 →自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。

● CATV 接続に関するトラブル

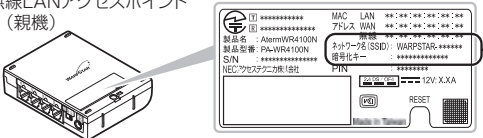
症　状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	●回線側の IP アドレスが取得できていない。 →クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していた CATV ケーブルモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている。 →CATV ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATV ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 →CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認してクイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」画面の［高度な設定を表示］をクリックしてから、または、らくらく Web ウィザードでドメイン名やホスト名を入力してください。 ●ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。 →CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。接続事業者に確認して、クイック設定 Web の「基本設定」－「接続先設定」または、らくらく Web ウィザード（☛P49）からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

（次ページに続く）

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>WAN 側 IP アドレスが取得できない</td><td rowspan="2">●背面の WAN ランプが緑点灯しているか確認してください。
●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
→クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」をご確認ください。
IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 取得] をクリックし、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
[IP 取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモデムがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面の WAN ランプが緑点灯しているか確認してください。
●クイック設定 Web の「基本設定」ー「接続先設定」画面の [高度な設定を表示] をクリックしてから、「IP アドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。
●クイック設定 Web の「基本設定」ー「基本設定」ー「ブリッジ設定」画面の [IPv6 ブリッジ] のチェックを外してみてください。
●CATV ケーブルモデムが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている場合があります。
→次の手順で、IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。
①IP アドレスを確認する
WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」が空欄になっている
②IP アドレスを変更する
クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を“192.168.1.1”など左から 3 つ目を変更して、[設定] をクリックする
③ [保存] をクリックする</td></tr>
<tr><td>しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、空欄になってしまう</td></tr>
</table>

ユーティリティに関するトラブル

●無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web に関する問題

症　状	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	●無線 LAN アクセスポイント（親機）を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(☛P134) ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存＆復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（WWW機能詳細ガイド）
無線 LAN アクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	クイック設定 Web で確認することができます。 「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
［設定］をクリックしても、状態が反映されない	●［保存］をクリックしていない →項目によっては、［設定］をクリックしても状態は反映されません。 左側フレーム内の［保存］をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）を再起動する必要があります。 ※再起動後有効となる項目 ・「詳細設定」－「その他の設定」－「インタフェース設定」の［WAN 側擬似 MAC アドレス機能］
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力すると、違う機種のクイック設定 Web が表示される	●本商品が無線 LAN アクセスポイントモードに設定されており、かつ WAN 側に NEC 製の ADSL モデムやホームゲートウェイ（Aterm シリーズ）が接続されている →「http://web.setup/」と入力すると、本商品ではなく、NEC 製の ADSL モデムやホームゲートウェイ（Aterm シリーズ）のクイック設定 Web 画面にアクセスします。本商品の IP アドレスを入力してください。(☛P56)
ブラウザからの応答がなくなってしまった	●クイック設定 Web では、［設定］をクリックすると設定値は即時有効となりますが、［詳細設定］－［LAN 側設定］、または「無線 LAN 設定」－［無線 LAN 設定］の変更では、［設定］をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。 その場合は、いったんブラウザを終了させてください。その後、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の接続設定が同じであることを確認のうえ、再度ブラウザを開き、［保存］をクリックしてください。 なお、［保存］をクリックせず、本商品の電源を OFF にしたり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。

●らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX に関する問題

症　状	原因と対策
らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EXが成功しない	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が ON になっていることを確認する →OFF になっていたら ON にしてください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線 LAN モード設定が、無線 LAN 端末（子機）の通信可能なモードに対応していることを確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になったらいったん離します。「つなぎかたガイド」などの手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の ECO ボタンを押してしまった →誤って ECO ボタンを押してしまうと、ECO モードが起動し、無線 LAN 通信が利用できなくなってしまいます。 (ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。) ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。 ●ドライバが正しく入っていない →ご利用の無線 LAN 端末(子機)の取扱説明書などを参照して、ドライバを正しくインストールしてください。(WL300NU-G(無線USBスティック)をご利用の場合は、P126を参照して、ドライバを正しくインストールしてください。) ●らくらく無線スタート EX が正しくインストールされていない →添付の CD-ROM（ユーティリティ集）、または AtermStation（http://121ware.com/aterm/）から最新のらくらく無線スタート EX をダウンロードしてインストールしてください。(☛「つなぎかたガイド」) ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化が解除されている →無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。(機能詳細ガイド) ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。(機能詳細ガイド) ●使用するネットワークに DHCP サーバとなる機器が存在しない状態で、無線 LAN アクセスポイント（親機）が無線 LAN アクセスポイントモードに設定されている →DHCP サーバとなる機器を設置するか、サテライトマネージャで無線LANの設定をしてください。(機能詳細ガイド) ●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ●パソコンに設定された固定 IP アドレスが無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。(☛P33)

症　状	原因と対策
らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX が成功しない（続き）	●古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、本商品に添付の CD-ROM を使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。 ●無線 LAN 端末(子機)(WL300NU-G など)のほかにネットワークデバイス（ETHERNET ボードなど）が動作している →ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合 LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。 ●らくらく無線スタート EX の場合、無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している →無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度が一致していない →無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号強度を設定してください。AES または 128bitWEP に対応していない無線 LAN 端末（子機）を利用する場合無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を変更する必要があります。 ●どうしても設定できない場合は、「Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する」（☛P82）で設定してください。

●サテライトマネージャに関する問題

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>インストール時に「このパソコンには無線制御用ソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される</td><td>●サテライトマネージャのインストールをいったん停止し、パソコンにインストールされている無線制御用ソフトをアンインストールしてから再度サテライトマネージャをインストールしてください。</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® およびWindows® 7/XP/2000 Professional で、サテライトマネージャがインストールできない</td><td>●Administrator 権限のあるユーザーでログオンしていない。
→「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。</td></tr>
<tr><td>サテライトマネージャが使用できない</td><td>●WL300NU-G（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていません。
次の手順でいったんドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professional の場合はドライバ）を削除してから、もう一度ドライバとユーティリティ（Windows® XP/2000 Professionalの場合はドライバ)をインストールしてください。
①［スタート］－［すべてのプログラム］－［Aterm WARPSTAR ユーティリティ]ー[ドライバとユーティリティの削除]（Windows® XP/2000 Professional の場合は［ドライバのアンインストール]）をクリックする
②画面の指示にしたがって、アンインストールを行う
●上記の手順でも正しくインストールされない場合は、次の手順で再インストールしてください。
〈Windows Vista®/Windows® 7 の場合〉
①［スタート]（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする
②［システムとメンテナンス]（または［システムとセキュリティ]）をクリックする
③［システム］アイコンをクリックする
④［デバイスマネージャ]（または［デバイスマネージャー]）をクリックする
⑤ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行］をクリックする
⑥［ネットワークアダプタ]（または [ネットワークアダプター]）をダブルクリックする
⑦［NEC AtermWL300NU-G（PA-WL300NU/G) Wireless Network Adapter]を右クリックし､｢プロパティ｣を表示する
⑧［ドライバ]（または［ドライバー]）タブで［ドライバの更新］をクリックする
以降は、「(www)機能詳細ガイド」の「無線 LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。

〈Windows® XP の場合〉
①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする
②［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
③［システム］アイコンをクリックする
④［ハードウェア］タブをクリックする
⑤［デバイスマネージャ］をクリックする
⑥［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑦［NEC AtermWL300NU-G（PA-WL300NU/G) Wireless Network Adapter]を右クリックし､｢プロパティ｣を表示する
⑧［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする</td></tr>
</table>

症　状	原因と対策
サテライトマネージャが使用できない （続き）	以降は、「機能詳細ガイド」の「無線 LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。 〈Windows® 2000 Professional の場合〉 ① [スタート] − [設定] − [コントロールパネル] をクリックする ② [システム] アイコンをダブルクリックする ③ [ハードウェア] タブをクリックする ④ [デバイスマネージャ] をクリックする ⑤ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする ⑥ [NEC AtermWL300NU-G（PA-WL300NU/G）Wireless Network Adapter] を右クリックし、「プロパティ」を表示する ⑦ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする 以降は、「機能詳細ガイド」の「無線 LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。
[サテライトマネージャ] アイコンが使える状態（青表示）にならない 通信状態が「範囲外」となる	●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っているか確認してください。 ●通信モードがあっているか確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、[設定] をクリックして確認します。 ●接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）があっているか確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせて設定してください。 ※無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時設定は、側面に貼ってあるラベルに記載されています。 無線LANアクセスポイント（親機） ネットワーク名（SSID）：WARPSTAR-****** 暗号化キー：************* ●無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていないか確認してください。 ●WL300NU-G（無線 USB スティック）のランプのつき方を確認してください。（☛P30） ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。 →お互いを数メートル以上離してお使いください。

症　状	原因と対策
［サテライトマネージャ］アイコンは使える状態（青表示）になるが無線LANアクセスポイント（親機）に接続できない	●暗号化の設定をしている場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と接続する無線通信モードで暗号化キーが一致しているか確認してください。（機能詳細ガイド） ●Windows® XPをご利用の場合は、［Windows® XPのワイヤレスネットワーク設定を無効にする］設定になっていることを確認してください。（機能詳細ガイド）
「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）がみつからない	●電波状態により「ネットワークの参照」で無線LANアクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。このような場合は、［新規登録］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●クイック設定Webの［無線LAN設定］－［無線LAN設定］の「無線LAN端末（子機）の接続制限」で「ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 ［新規登録］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●WL300NU-G（無線USBスティック）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●Ethernetインタフェースを搭載したパソコンの場合、LANカードまたはLANボードの機能を停止させないとWL300NU-G（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールされない場合があります。LANカードまたはLANボードの機能を停止させてから、サテライトマネージャでの設定を行ってください。（機能詳細ガイド）
WL300NU-G（無線USBスティック）が使えない	●「無線状態が良好なのに通信できない」（☛P131）を参照してください。

ご利用開始後のトラブル

症　状	原因と対策
時々通信が切れる 途中から通信速度が遅くなった 通信が切断されることがある	●ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx は、ハードウェアのアドレスが .... と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 **〈IP アドレスの再取得〉** 〈Windows Vista® の場合〉 ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を右クリックし、［管理者として実行］をクリックする ②ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする ③「ipconfig /release」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを解放する ④「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」※になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） 〈Windows® XP/2000 Professional の場合〉 ①［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押す ③IP アドレス（IP Address）が「192.168.0.xxx」になることを確認する（xxx は 1 を除く任意の数字） 〈Mac OS X の場合〉 ①アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する ②［表示］で［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］のチェックを外して、［今すぐ適用］をクリックする。 ③［内蔵 Ethernet］のチェックを入れて、［今すぐ適用］をクリックする。 ④［表示］を［内蔵 Ethernet］にして、［TCP/IP］タブをクリックし、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっていることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）
前回はできたのにインターネット接続ができない（PPPoE モード、ローカルルータモード共通）	●パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線 LAN アクセスポイント（親機）の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、上記を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b. 上記の「IP アドレスの再取得」を行う

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない（PPPoE モードの場合）	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。
前回はできたのにインターネット接続ができない（ローカルルータモードの場合）	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム／回線終端装置と無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源投入順序によっては無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがあります。クイック設定 Web の［情報］の［現在の状態］で［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）が正常に動作しないが、原因がわからない	●設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●ETHERNET ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］で設定し直してください。 ●サテライトマネージャをご利用の場合は、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で［スキャン］をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を検索してください。ネットワーク名（SSID）で無線 LAN アクセスポイント（親機）を識別できます。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☛P135） 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P127）
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	●ETHERNET ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」の「無線 LAN 設定」で設定を確認してください。（Ⓦ機能詳細ガイド） ●無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☛P135） 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P127）
無線状態が良好なのに速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →サテライトマネージャ［プロパティ］－［状態］の「チャネル状況」で使用しているチャネルを確認し、クイック設定 Web で使用する無線チャネルの番号を変更してください。 →クイック設定 Web を起動して［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］の［無線 LAN アクセスポイント（親機）設定］の「無線動作モード」で「標準（2.4GHz）」を選択し、「使用チャネル」の番号を変更します。（設定値 1 ～ 7）設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャネルから 4 チャネル以上ずらすようにしてください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる → 1m 以上離してください。

症　状	原因と対策
無線状態が良好なのに通信できない	●〈IP アドレスの再取得〉（☛P129）を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。 ●固定 IP アドレスでお使いの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 （例：無線 LAN アクセスポイント（親機）が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末（子機）は 192.168.0.xxx） ●他の LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停止させてください。（☛P46、47、48）
WL300NU-G（無線 USB スティック）を利用して、ＡＶサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●無線状態が悪い（無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。（☛P130） ●サテライトマネージャの設定画面でストリーミングモードを「ON」にする。（WWW機能詳細ガイド） ●AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・ クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」

添付の CD-ROM に関するトラブル

症　状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	Windows Vista® および Windows® 7/XP/2000 Professional の場合、CD-ROM をセットすると、メニュー画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニュー画面を消してください。 ●不要な場合は［CLOSE］をクリックします。 ●Windows® XPの場合、Shiftキーを押しながらCD-ROMをセットします。

本商品が接続しているネットワークのアドレス体系を確認する

本商品が接続しているネットワークのアドレス体系は、下記の手順で確認します。

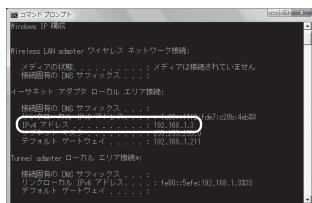
本商品の動作モードを無線 LAN アクセスポイントモードでご利用になる場合は、ここで確認したアドレス体系を使用してクイック設定 Web を起動します。(☛P56)

Windows Vista®/Windows® 7 の場合

1 [スタート](Windows® のロゴボタン)－[すべてのプログラム]－[アクセサリ] － [コマンドプロンプト] をクリックする

2 「ipconfig」と入力して、[Enter] キーを押す

3 表示された IPv4 アドレスを確認する

画面は無線 LAN アクセスポイントモードの場合の一例です。

(画面例では「192.168.1.3」)

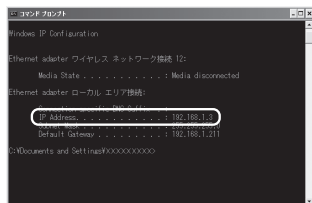
控え欄

Windows® XP/2000 Professional の場合

1 [スタート] － [すべてのプログラム](または [プログラム])－ [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] をクリックする

2 「ipconfig」を入力して [Enter] キーを押す

3 表示された IP アドレス(IP Address)を確認する

画面は無線 LAN アクセスポイントモードの場合の一例です。

(画面例では「192.168.1.3」)

控え欄

Mac OS X の場合

1 アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

2 ［表示］を［内蔵 Ethernet］にして、［TCP/IP］タブをクリックする

3 表示された IP アドレスを確認する

画面は無線 LAN アクセスポイントモードの場合の一例です。
（画面例では「192.168.1.3」）

控え欄

画面は、Mac OS X（v10.4 Tiger）を例にしています。上記 OS 以外をご利用の場合は、ご利用の OS マニュアルをご覧ください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化する

初期化とは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。無線 LAN アクセスポイント（親機）がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

※ 初期化の際は、P135 の「お願い」もご覧ください。

※ 初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした無線 LAN アクセスポイント（親機）のファームウェアはそのままです。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

- クイック設定 Web で初期化する（☛ 下記）
- RESET スイッチで初期化する（☛P135）

初期化する前に、ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをルータ（RT）側にしておいてください。

クイック設定 Web で初期化する

1　パソコンを起動する

2　WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例：http://192.168.0.1/

※無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、「クイック設定 Web の起動のしかた（無線 LAN アクセスポイントモードの場合）」（☛P56）を参照してください。

3　ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4　「メンテナンス」の［設定値の初期化］を選択する

5　［設定値の初期化］をクリックする

6　［OK］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

RESET スイッチで初期化する

無線 LAN アクセスポイント（親機）の RESET スイッチを使って初期化を行います。RESET スイッチは、側面にあります。

1 **無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っていることを確認する**

2 **無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWER ランプが赤点滅を始めたら離す**

POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒〜10 秒かかります。

3 **無線 LAN アクセスポイント（親機）から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから、再び差し込む**

お願い

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）は、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線 LAN 端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を変更するか、無線 LAN 端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載）に戻してください。

製品仕様

WR4100N（親機）ハードウェア仕様

項　目		諸元および機能		備　考
WAN インタ フェース	物理 インタフェース	8 ピンモジュラージャック （RJ-45）× 1 ポート		
	インタフェース	ブロードバンド接続ポート 100BASE-TX/10BASE-T ＊ 4		Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps ＊ 4		
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重		
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8 ピンモジュラージャック （RJ-45）× 3 ポート		スイッチング HUB × 3 ポート
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T ＊ 4		Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps ＊ 4		
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重		
無線LAN インタ フェース	11n テクノロ ジー使用時	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/ 1 ～ 13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数［HT20］56、［HT40］114	
		伝送速度＊ 1	2.4GHz 帯 ［HT20］ ＊ 2 65/58.5/52/39/26/19.5/13Mbps （自動フォールバック） 2.4GHz 帯 ［HT40］ ＊ 2 150/135/121.5/ 108/81/54/40.5/27/13.5Mbps （自動フォールバック）	
	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/ 1 ～ 13ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度＊ 1	11/5.5/2/1Mbps （自動フォールバック）	
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）/ 1 ～ 13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度＊ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	
	アンテナ	送信 1 ×受信 1（内蔵アンテナ）		
	セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、 WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）、 WPA2-PSK（TKIP、AES） ※ 11n テクノロジーでは WPA-PSK（AES）、WPA2-PSK （AES）のみの対応		

項　目			諸元および機能	備　考
ヒューマンインタフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯	
		ACTIVE	ネット通信確立時点灯＊３	
		AIR	2.4GHz モード時緑点灯、2.4GHz データ送受信時緑点滅＊３	
		WAN	リンク確立時点灯、データ送受信時点滅＊３	
		LAN1 ～３	リンク確立時点灯、データ送受信時点滅＊３	
	スイッチ		ECO ボタン×１ らくらくスタートボタン×１ RESET スイッチ×１ ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチ×１	
動作保証環境			温度０～40℃　湿度 10 ～ 90%	結露しないこと
外形寸法			約 27（W）× 85（D）× 110（H）mm	突起部除く
電源			AC100V ± 10%　50/60Hz	AC アダプタ使用
消費電力			5.5W（最大）	
質量（本体のみ）			約 0.2kg	AC アダプタを除く
VCCI			VCCI クラス B	

＊１： 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。

＊２： ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。

＊３： ECO モード起動中は消灯します。

＊４： 本商品を快適にご利用いただくには、100BASE-TX、100Mbps の方式での接続を推奨します。

WL300NU-G（無線 USB スティック）仕様

■ 仕様一覧

項　目		諸元および機能	
端末インタフェース		USB（USB2.0 推奨＊ 1）	
無線 LAN インタフェース	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯 （2,400 〜 2,484MHz）/1 〜 13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数［HT20］56、［HT40］114 MIMO（空間多重）方式
		伝送速度＊ 2	送信：［HT20］65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps ［HT40］150/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5Mbps 受信：［HT20］130/117/104/78/52/39/26/13Mbps ［HT40］300/270/243/216/162/108/81/54/27Mbps （自動フォールバック）
	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400 〜 2,484MHz）/ 1 〜 13CH
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度＊ 2	11/5.5/2/1Mbps （自動フォールバック）
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400 〜 2,484MHz）/ 1 〜 13CH
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数 52
		伝送速度＊ 2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）
	セキュリティ ＊ 3	SSID、WEP（128/64bit)、WPA-PSK（TKIP、AES)、WPA2-PSK（TKIP、AES） ※ IEEE802.11n では WPA-PSK（AES)、WPA2-PSK（AES）のみ対応になります	
	通信モード＊ 4	アクセスポイント通信	
	その他機能	ユーティリティ（サテライトマネージャ）対応	
ヒューマン インタフェース	状態表示ランプ	状態表示 LED × 1（ACT)、LED 色：緑色	
利用可能 OS		Windows Vista®（Service Pack 1 および 2 含む） 日本語版かつ 32 ビット（× 86）版、 Windows® XP (Service Pack 1 〜 3）日本語版、 Windows® 2000 Professional(Service Pack 1〜4) 日本語版、 Windows® 7 日本語版かつ 32 ビット（× 86）版または 64 ビット（× 64）版	
電源		DC ＋ 5V × 500mA（パソコンから給電）	

項　目	諸元および機能
消費電力	2.5W（最大）
外形寸法（キャップを除く）	約 25（W）× 85（D）× 12（H）mm
質量（本体のみ）	約 0.02kg
動作環境	温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90%（結露しないこと）
VCCI	VCCI クラス B

＊ 1： USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。WL300NU-G の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

＊ 2： 規格による理論値上の速度であり、ご利用の環境や接続機器などにより実際のデータ速度は異なります。

＊ 3： Windows Vista® および Windows® 7/XP のワイヤレスネットワーク接続を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。
〈TKIP、AES の場合〉
Windows Vista® または Windows® 7/XP（Service Pack 2 または 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

＊ 4： WL300NU-G では、アドホック通信をご利用になれません。

別売りオプション

オプションとして次の製品を別売しています。(製造終了となっている商品もあります。ご了承ください。)

■ 無線 LAN カード
Aterm WL300NC-G (PA-WL300NC/G)
Aterm WL54GC (PA-WL54GC)
Aterm WL54SC2 (PA-WL54SC2)、Aterm WL54SC (PA-WL/54SC)
Aterm WL300NC (PA-WL300NC)、Aterm WL130NC (PA-WL130NC)
Aterm WL54AG (PA-WL/54AG)、Aterm WL54AG-SD (PA-WL/54AG-SD1)

■ 無線 USB スティック (USB2.0 推奨)
Aterm WL300NU-G (PA-WL300NU/G)
Aterm WL54GU (PA-WL54GU)
Aterm WL54SU2 (PA-WL54SU2)
Aterm WL54SU (PA-WL/54SU)
Aterm WL54TU (PA-WL/54TU)
パソコンの USB ポートに接続します。

■ イーサネットコンバータ、無線 LAN ETHERNET ボックス
Aterm WL54SE2 (PA-WL54SE2)、Aterm WL54SE (PA-WL/54SE)
Aterm WL54TE (PA-WL/54TE)
パソコンと ETHERNET ケーブルで接続します。

■ ワイヤレス LAN 外部アンテナ
(WL54AG 用) (PA-WL/ANT3)
※ WL300NC-G、WL300NC、WL130NC、WL54SC2、WL54SC、WL54GC では使用できません。
電波状態が悪いときなど、WL54AG (無線 LAN カード) に接続して使用します。(WL54AG (S)、WL54AG-SD も含みます。)
ただし、周囲の電波状況や壁の構造 (鉄筋壁、防音壁、断熱壁) などにより、改善状態は異なります。(改善できないこともあります。)

お知らせ

●オプション品は、お近くの販売店のほか、オンラインショップ Shop@Aterm (http://shop.aterm.jp/) でもご購入いただけます。
●WR4100N は IEEE802.11a での通信はご利用になれません。
IEEE802.11n、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信でご利用ください。
●IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末 (子機) と無線通信する場合、伝送速度は最大 150Mbps (規格値) となります。

索引

WWWマークの項目については、ホームページに公開している「WWW機能詳細ガイド」で説明しています。

よくあるお問い合わせ

本商品の接続や設定について、よくあるお問い合わせ内容をまとめました。
Aterm（エーターム）インフォメーションセンター（☛P145）にお問い合わせの前にご確認ください。

No.1 設定は完了したが、インターネットに接続できない

● ACTIVE ランプがゆっくりとした緑点滅（1 秒間隔）していませんか
→「トラブルシューティング」の「症状：ACTIVE ランプが遅い緑点滅、速い緑点滅を繰り返している」（☛P117）参照

● 本商品に接続したブロードバンドモデムの電源入れ直しをしましたか
→「つなぎかたガイド」（別紙）の STEP4 の注 3 参照
→「トラブルシューティング」の「ACTIVE ランプが緑点灯しない」の「●他のブロードバンドルータやパソコンに・・・」（☛P118）参照

No.2 インターネットに突然接続できなくなった

● POWER ランプが緑点滅し、ACTIVE ランプ・AIR ランプ・背面のランプが消灯していませんか
→ ECO モードが起動されていると、無線 LAN 通信がご利用になれません。
また、ETHERNET ポートの通信速度が低速（10Mbps）で動作します。（☛P66）参照

No.3 設定変更したいが、クイック設定 Web が開かない

● ACTIVE ランプが、橙点灯もしくは橙点滅していませんか
→「クイック設定 Web の起動のしかた（無線 LAN アクセスポイントモードの場合）」（☛P56）参照

No.4 ゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンと接続できない

● ゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンのメーカーから、無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定情報が必要と言われた
→ 本商品の工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、側面に貼ってあるラベルに記載されています。

※ 上記を参照しても設定できない場合は、ゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンのメーカーへお問い合わせください。

● 無線設定中、セキュリティーキーまたはパスフレーズの入力画面が出てきたが、何を入れればよいかわからない
→ 本商品の工場出荷時の暗号化キーは、側面に貼ってあるラベルに記載されています。（☛ 上記）参照

● 設定方法がわからない
→ Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」で設定してください。（☛P82）
なお、本商品の工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、側面に貼ってあるラベルに記載されています。（☛P83、89、96、100）

No.5 新しいパソコン（2 台目以降）を購入した

● 設定方法がわからない
→「つなぎかたガイド」（別紙）の STEP2 参照

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。

（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

本商品の接続･設定についてご不明の点がございましたら、「よくあるお問い合わせ」（☛P144）をご覧ください。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NEC アクセステクニカ株式会社

Aterm WR4100N 取扱説明書　第 3 版

AM1-001526-003
2010 年 9 月